

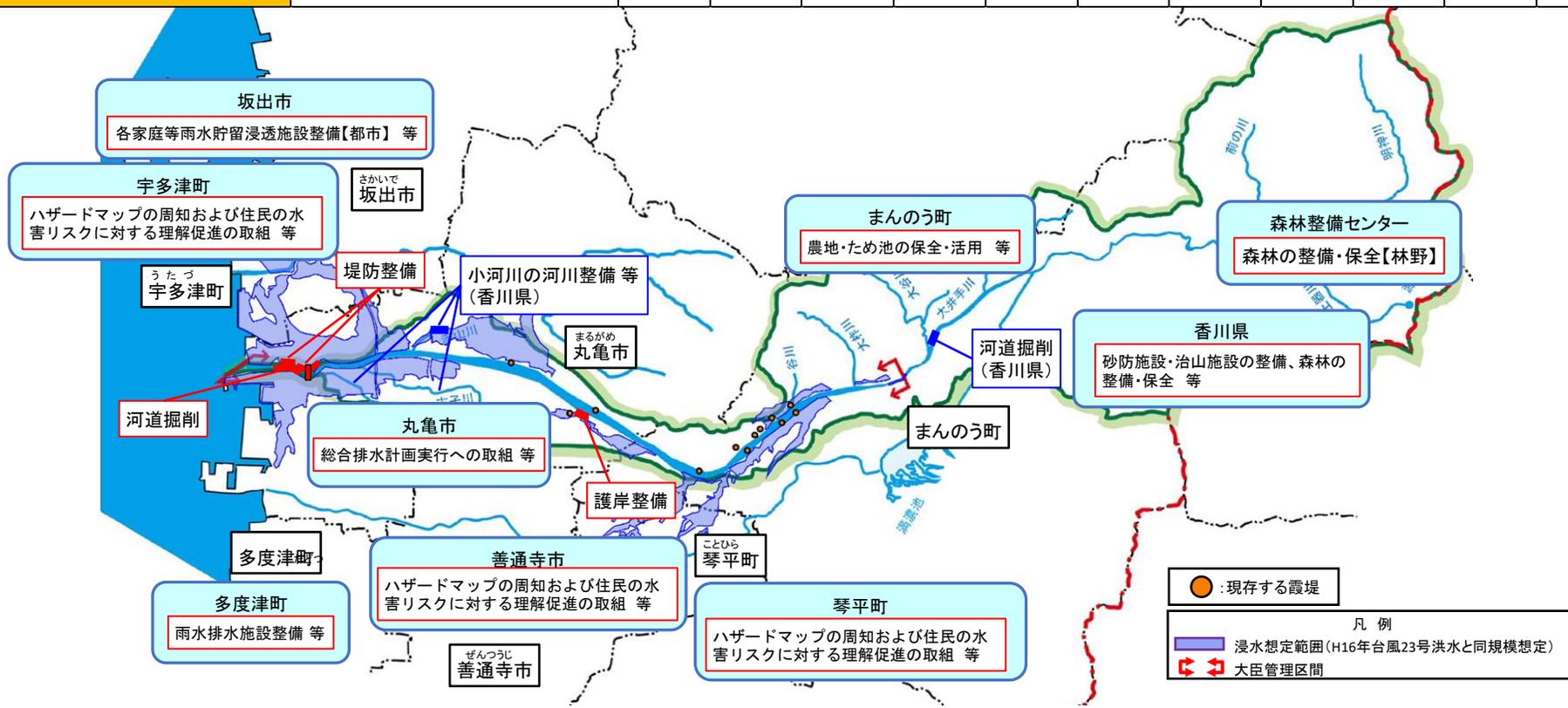
各機関の流域治水対策の取組状況について

令和8年2月18日

香川河川国道事務所

土器川流域治水プロジェクト 令和7年度の取組位置図

流域治水効果	取り組み内容	香川河川国 道事務所	丸亀市	坂出市	善通寺市	宇多津町	琴平町	多度津町	まんのう町	香川県	林野庁	森林整備セ ンター	気象庁
洪水を安全に流下させる	堤防整備、河道掘削等	●							●	●			
雨水の急激な流出を抑える	雨水貯留施設整備、下水道事業の推進【下水】		●	●				●					
	農地・ため池の保全・活用		●	●					●	●			
	学校施設での流出抑制対策(校庭貯留)		●										
土砂・流木の捕捉	治山・砂防施設の整備等								●	●			
森林保水力の強化や土砂流出の抑制	森林の整備・保全【林野】									●		●	
水を流す、水をためる、防災行動・地域連携	総合排水計画の作成・実行		●										
住民意識を向上	各種ソフト対策	●	●	●	●	●	●	●	●				●



令和7年度の取組状況一覧表（1 / 2）

構成員	令和7年度の取組内容	参照ページ
国土交通省 香川河川国道事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防整備、河道掘削、侵食対策 ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施 ・国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催 ・国・県・市町など関係機関が連携した水防訓練の実施 ・水害リスクラインを活用した情報提供 ・「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進 ・気候変動を踏まえた土器川水系河川整備基本方針(変更) 	4
丸亀市	<ul style="list-style-type: none"> ・総合排水計画実行への取組(清水川流域) ・下水道事業の推進【下水】 ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【下水】 ・農地・ため池の保全・活用 ・城坤小学校の校庭貯留対策の設計 	17
坂出市	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業の推進【下水】 ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】 ・農地・ため池の保全・活用 ・「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進 ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 ・国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施 ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ・国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催 	23
善通寺市	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 	31
宇多津町	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 	35
琴平町	<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの更新作業 	39

令和7年度の取組状況一覧表（2 / 2）

構成員	令和7年度の取組内容	参照ページ
多度津町	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水施設整備【下水】 ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 	42
まんのう町	<ul style="list-style-type: none"> ・小河川の河川整備（河道掘削等） ・治山施設の整備 ・農地・ため池の保全・活用 ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 	45
香川県	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防整備 ・小河川の河川整備（河道掘削等） ・農地・ため池の保全・活用 ・砂防施設の整備等 ・治山施設の整備 ・森林の整備・保全【林野】 	48
林野庁 香川森林管理事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の整備・保全 	52
森林整備センター	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の整備・保全 	54
高松地方气象台	<ul style="list-style-type: none"> ・防災気象情報の提供 	56

構成員

国土交通省 香川河川 国道事務所

※赤字、青字の対策を実施
(青字は、各構成員共通)

<令和6年度に提示した流域治水対策>

- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、侵食対策
- ・雨水貯留施設整備【下水】
- ・下水道事業の推進【下水】
- ・雨水排水施設整備【下水】
- ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】
- ・小河川の河川整備(河道掘削等)
- ・治山施設の整備
- ・森林の整備・保全【林野】
- ・砂防施設の整備等
- ・農地・ため池の保全・活用
- ・既存の霞堤の保全
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進
- ・「多機関連携型タイムライン」の作成と訓練の実施
- ・広域避難の近隣市町連携
- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの周知および 住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施
- ・国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・水害リスクラインを活用した情報提供

<令和7年度に取り組んだ流域治水対策>

- ・堤防整備、河道掘削、侵食対策
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催
- ・国・県・市町など関係機関が連携した水防訓練の実施
- ・水害リスクラインを活用した情報提供
- ・「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進
- ・気候変動を踏まえた土器川水系河川整備基本方針(変更)

【香川河川国道事務所】土器川 河川改修事業等

➤ 土器川では、土器・飯野箇所の「堤防整備事業」と「河道掘削事業」、垂水箇所の「侵食対策事業」、直轄管理区間に「維持修繕事業」を実施。

土器・飯野箇所

【主な実施内容】

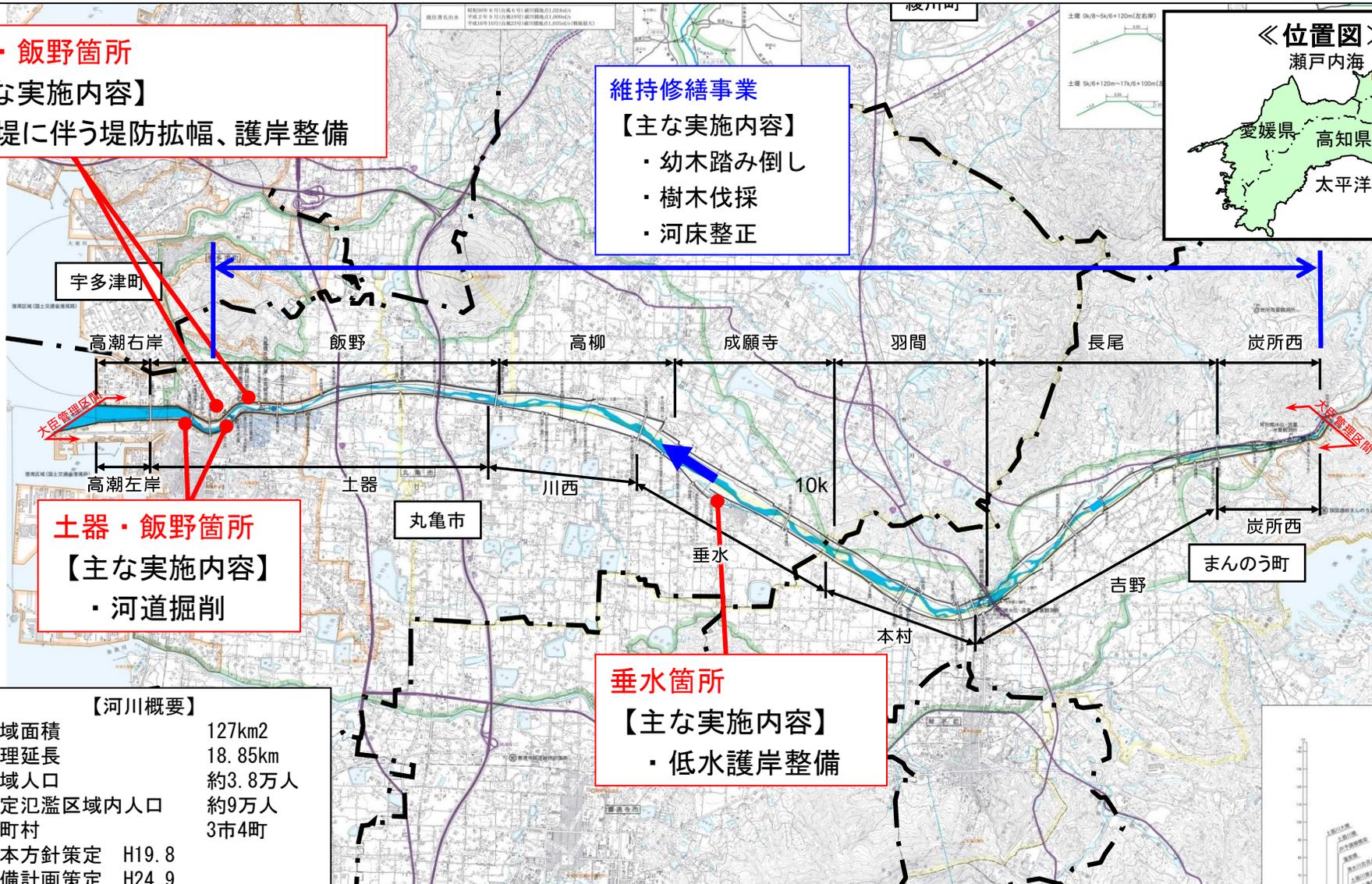
- ・引堤に伴う堤防拡幅、護岸整備

維持修繕事業

【主な実施内容】

- ・幼木踏み倒し
- ・樹木伐採
- ・河床整正

《位置図》 土器川



土器・飯野箇所

【主な実施内容】

- ・河道掘削

垂水箇所

【主な実施内容】

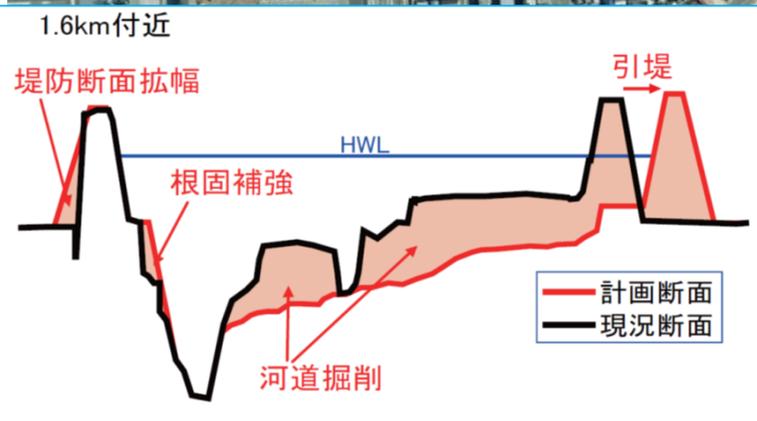
- ・低水護岸整備

【河川概要】

流域面積	127km ²
管理延長	18.85km
流域人口	約3.8万人
想定氾濫区域内人口	約9万人
市町村	3市4町
基本方針策定	H19.8
整備計画策定	H24.9
基本方針変更	R7.12

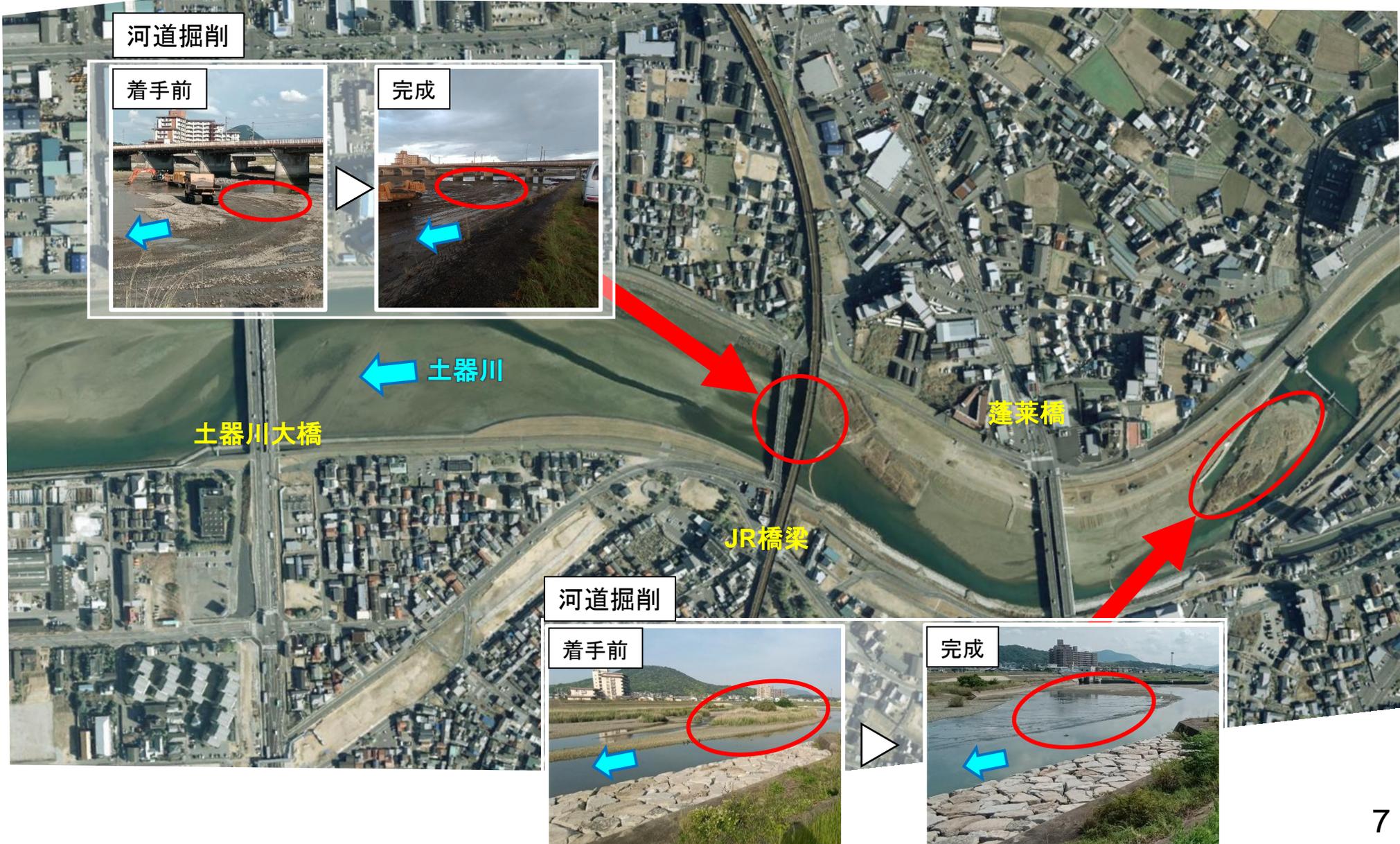
土器・飯野地区引堤事業

【目的】流下能力向上のため、引堤(本工事では、築堤等)を実施



土器・飯野地区の河道掘削事業

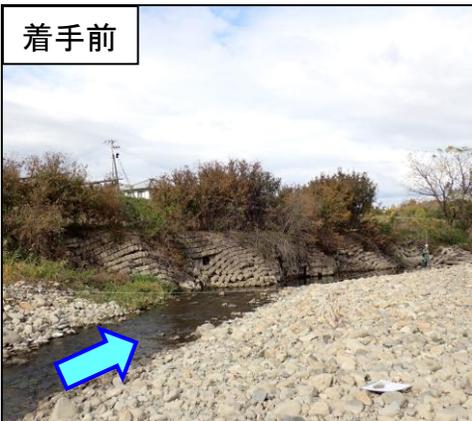
【目的】流下能力向上のため、河道掘削を実施



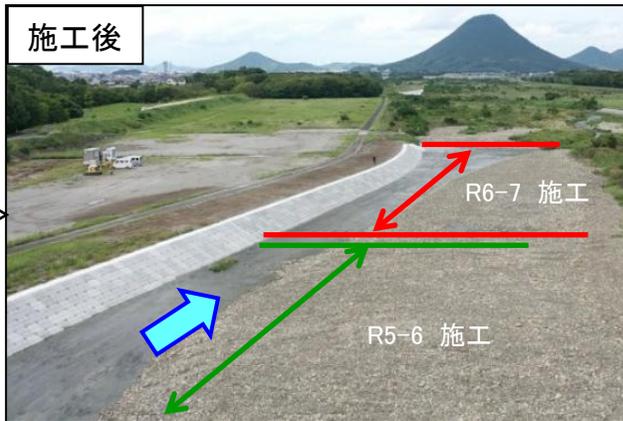
垂水箇所の侵食対策事業

【目的】垂水箇所は、洪水による護岸の洗掘が進行しているため河岸侵食の対策を実施

着手前

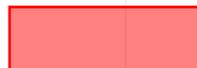
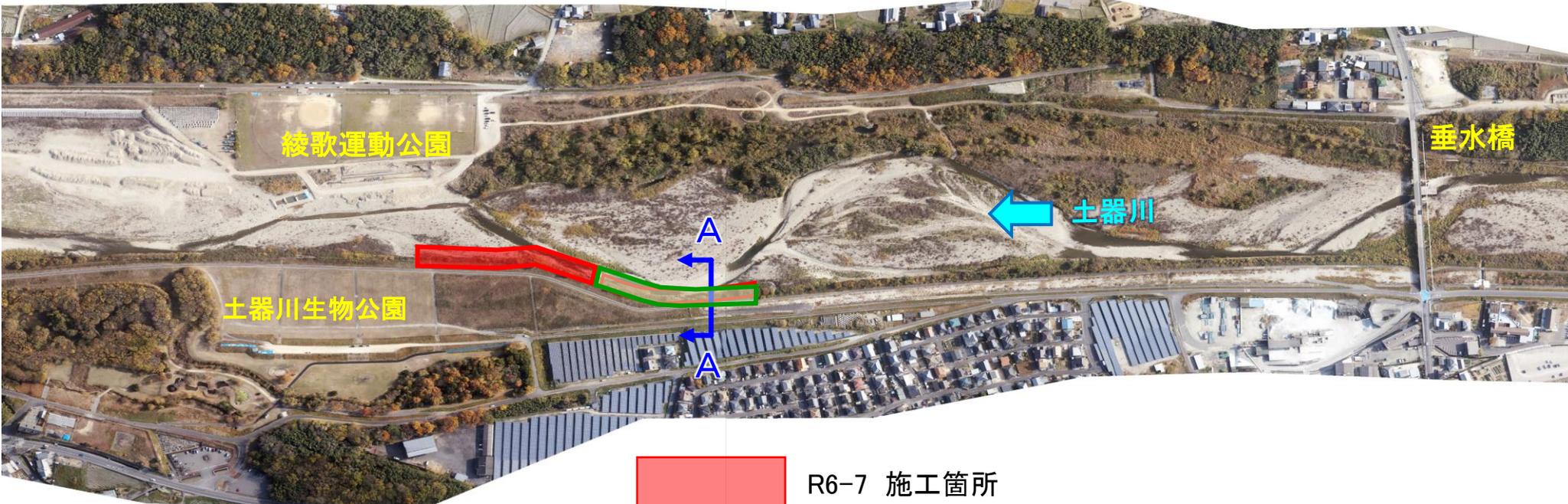
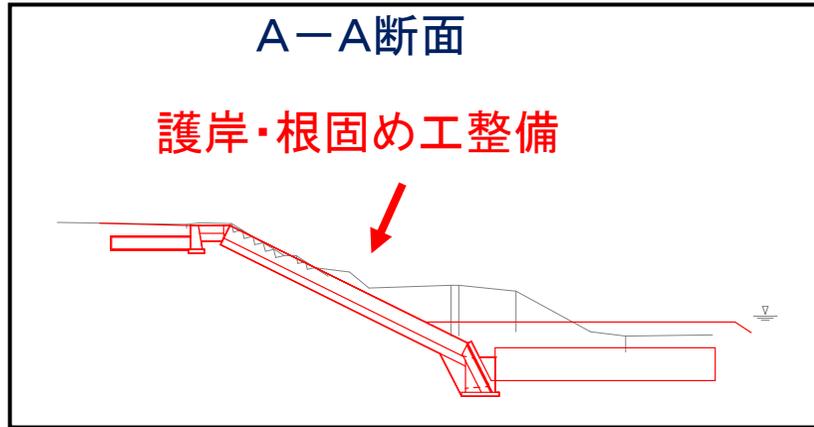


施工後

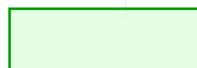


A-A断面

護岸・根固め工整備



R6-7 施工箇所



R5-6 施工箇所

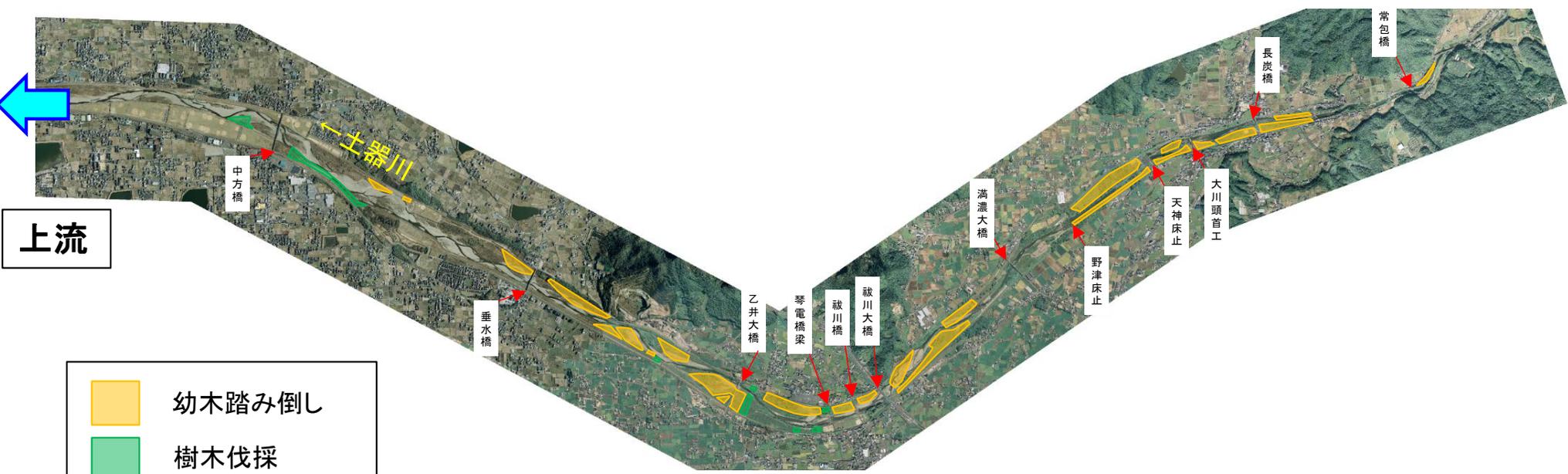
維持修繕事業

【目的】流下能力維持のため河床整正、樹木伐採、幼木踏み倒しを実施。

下流



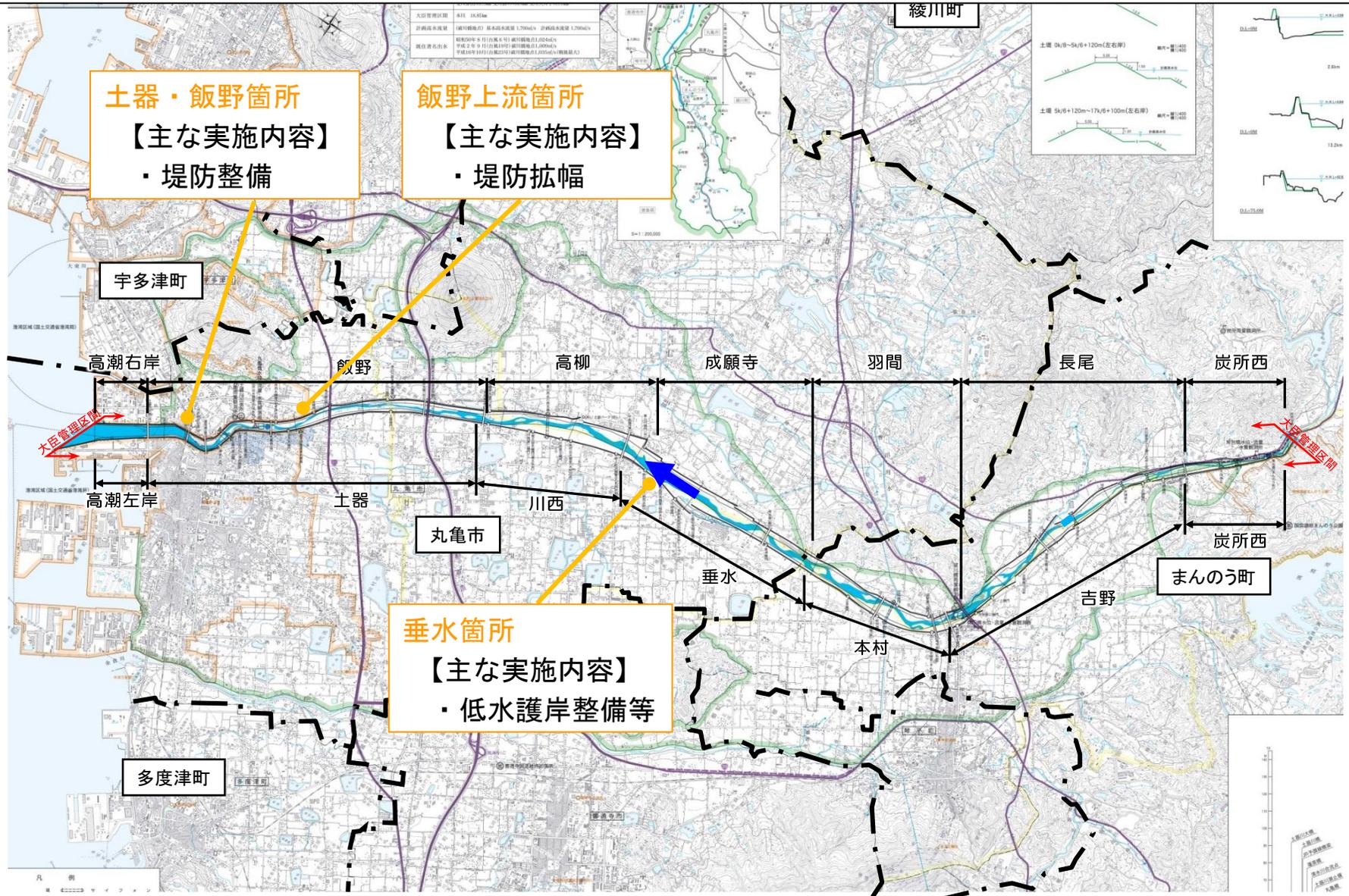
上流



- 幼木踏み倒し
- 樹木伐採
- 河床整正(掘削)

令和8年度 工事実施予定

▶ 土器・飯野箇所の堤防整備、飯野上流箇所の堤防拡幅、垂水箇所の侵食対策を実施予定



【香川河川国道事務所】堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施

- 河川管理者としての堤防決壊に対する危機意識の保持と技術水準の維持、向上を目的として令和7年5月26日に洪水による堤防決壊シミュレーションを実施。堤防が決壊した場合、「決壊箇所をどう締め切るか。」シミュレーションを行うことで、得られた課題や知見を、体制や備蓄資材等に反映し、緊急対策時の技術力の向上を図る。
- 令和7年9月25日には、南海トラフ地震などへの備えとして、地震により堤防が損傷を受けたという想定で、迅速な堤防復旧を行うためのシミュレーションを行った。



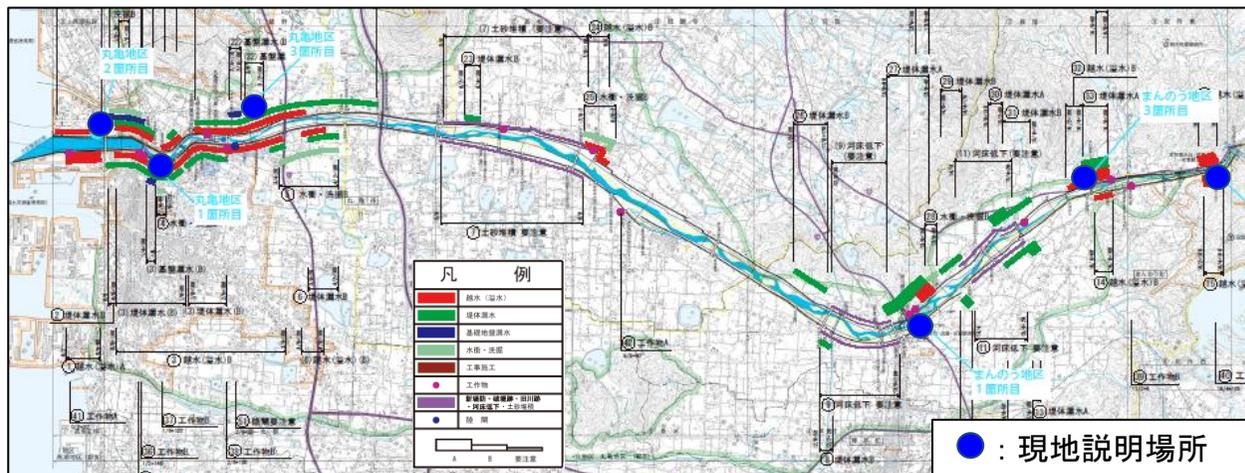
堤防決壊シミュレーション実施状況



洪水による決壊時の堤防復旧検討成果

【各構成員共通】国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催

- 洪水時における河川管理者と水防関係機関・防災関係機関相互の迅速・確実な連絡方法の確保や災害の予防と軽減を図るため、令和7年6月6日に「土器川水防連絡会幹事会」を開催。
- 令和7年度水防計画書や重要水防箇所の変更について関係機関と情報を共有。
- 令和7年6月5日には、洪水に対する危険性を共有するため、土器川の重要水防箇所を地元自治体防災担当者等と合同巡視を実施。



土器川水防連絡会幹事会



重要水防箇所の合同巡視



【各構成員共通】国・市町など関係機関が連携した水防訓練の実施

- ▶「令和7年度 水防工法技術講習会」を実施。
- ▶四国地方防災エキスパートを講師として招き、流域の消防団を対象に水防技術の維持・向上を目的とした水防工法の実技講習を実施。

○ 開催スケジュール

令和7年6月14日(土)9:00～12:00

○ 場所

丸亀市垂水町地先 土器川生物公園河川敷

○ 出席者

＜水防工法技術講習会 約130名参加＞

- ・丸亀市 約70名、まんのう町 約30名、
- 四国地方防災エキスパート 11名、香川河川国道事務所 16名



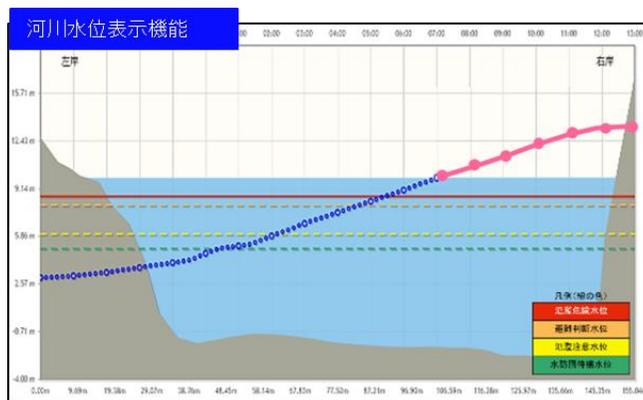
【香川河川国道事務所】水害リスクラインを活用した情報提供

▶ 観測所地点の水位から上下流連続的な水位をリアルタイムで計算し、堤防の高さとの比較により地先毎の洪水危険度を把握・表示する国管理河川の洪水の危険度分布(水害リスクライン)により、災害の切迫感をわかりやすく伝える取組を推進。

■令和2年7月豪雨における表示(江の川水系江の川の例)

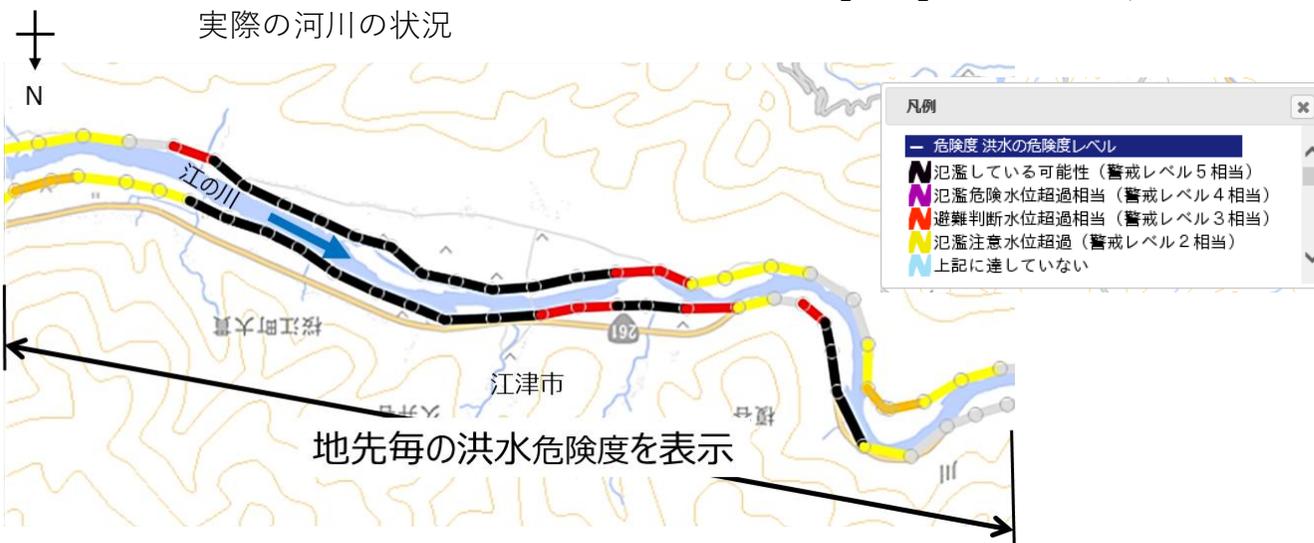


令和2年7月14日撮影



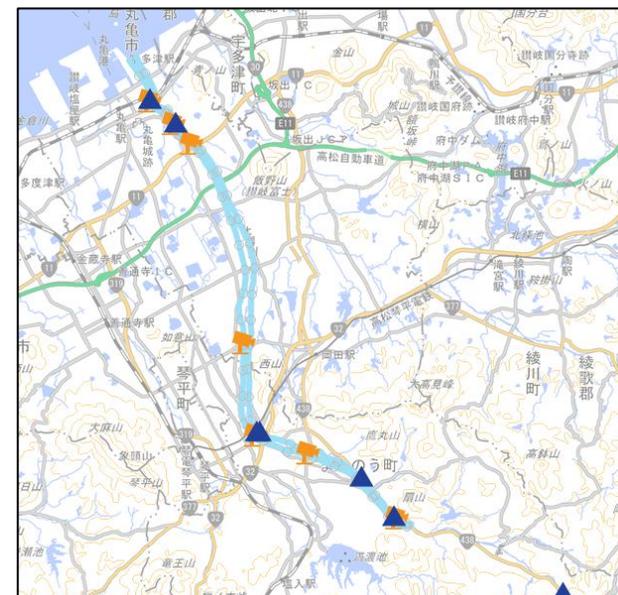
【参考】 近隣の水位観測所

実際の河川の状況



地先毎の洪水危険度を表示

■土器川も情報を提供



令和7年11月19日 10時時点

水害リスクライン
洪水の危険度の高まりを、地図上で概ね200mごと、両岸別に示した情報。

<https://frl.river.go.jp/>

水害リスクラインのウェブサイトへアクセスし、土器川水系を選択!

【各構成員共通】 「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進

- ▶ 中讃地域を主体に、「人材育成プロジェクト」と「地域連携プロジェクト」の活動を実施することにより、地域の情報共有、地域活動の共同参画、災害時の協力体制などの新たな仕組みを醸成させる取組として、令和3年12月のキックオフシンポジウムより具体的に活動を開始。
- ▶ 防災意識の向上に加え、地域のつながりを目指し、交流の場「リレー防災みらいサロン」を土器川流域の各市町で開催。

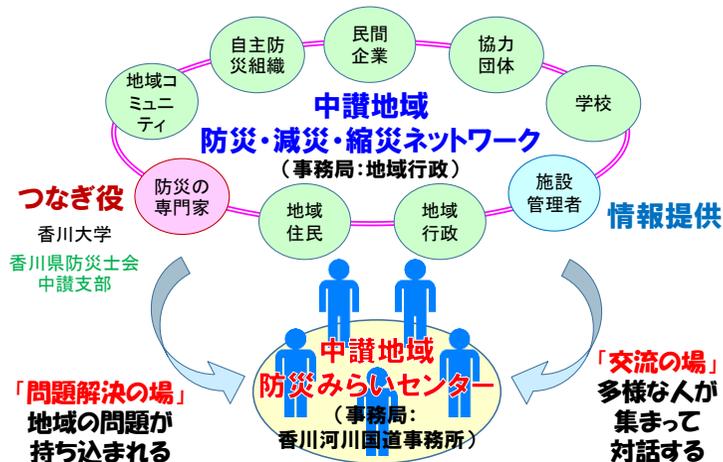
交流の場：「リレー防災みらいサロン」を企画

キャッチコピー

“防災をきっかけに、地域の課題や活動を知ろう・話そう”

【目的(案)】

- ① 交流の場・機会を増やす
- ② 地域の多種多様な組織・団体が知り合いになる
- ③ 「防災」をキーワードに、地域で「つながりの輪」を作る
- ④ 地域の情報を共有する
- ⑤ 地域防災リーダーを育成する
- ⑥ 様々な地域活動に共同で参画しやすくする
- ⑦ 災害時に地域で協力しやすい体制を作る



枠組み(組織、場)の構築イメージ

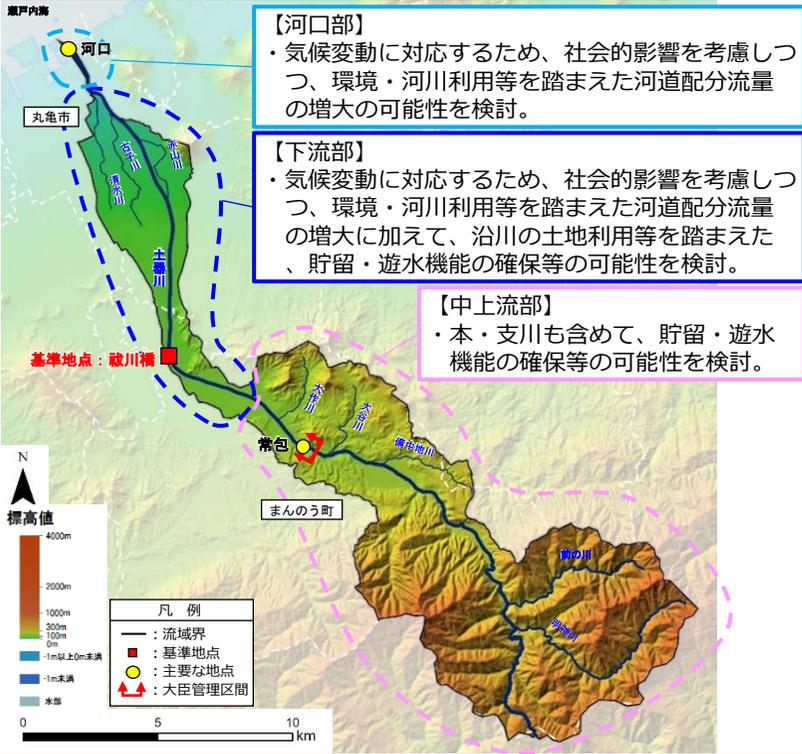
R6～R7年度
リレー防災みらいサロン 開催状況一覧表

市町	R6年度	R7年度	
	実施内容	実施状況	開催形式
丸亀市	R7.1.18(土) 合同防災訓練	R8.1.17(土)	防災訓練・防災講演会
坂出市	R6.11.23(土) 防災キャンプ	R7.11.23(日)	防災ミツケ
善通寺市	R6.11.2(土) 合同防災訓練	R7.11.21(金) R7.8.19(火) R7.9.12(金)等	防災講演会 防災研修会 防災教室(3回)
宇多津町	R6.8.10(土) 防災講演会	R7.12.14(日)	防災訓練
琴平町	R6.7.19(金) ワークショップ	R7.7.14(月)	ワークショップ
多度津町	R6.12.21(土) ワークショップ	R7.11.30(日)	防災訓練
まんのう町	R6.12.22(日) 講演会 防災訓練 等	R7.11.15(土) R7.12.7(日) R7.12.14(日)	親子防災の集い支援 防災訓練 等

【香川河川国道事務所】気候変動を踏まえた土器川水系河川整備基本方針（変更）

- 長期的な河川整備の目標となる洪水（基本高水）のピーク流量を、基準地点祓川橋において1,700m³/sから2,100m³/sに変更。
- 気候変動の影響による洪水外力増大に対し、新たな貯留・遊水機能の確保、河川環境・河川利用や地域社会への影響等を総合的に勘案して検討し、河道配分流量を1,900m³/s、洪水調節流量を200m³/sとした。
- 瀬切れ区間においても代表魚種等が生息可能な孤立淵を維持することを目標とし、新たに正常流量を設定。

河道と洪水調節施設等の設定の考え方



河道での対応

- 基準地点祓川橋では、河道配分流量を1,900m³/sとする。（上流の常包地点において確保可能な1,600m³/s相当）
- 河口地点では、沿川の土地利用状況から左岸側の引堤が困難であるため、河道配分流量を1,750m³/s → 1,500m³/sとする。

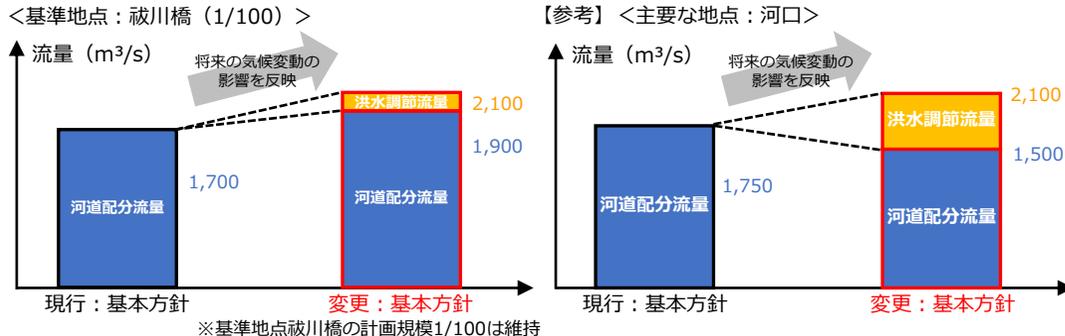


洪水調節施設等での対応

- 中上流部では、本・支川も含めた流域全体で、新たな貯留・遊水機能の確保により、洪水調節流量を200m³/sとする。
- 下流部では、現況の広い河道幅や周辺の土地利用を踏まえ、新たな貯留・遊水機能の確保により、洪水調節流量を400m³/sとする。



河道と洪水調節施設等の配分流量



計画高水流量図



正常流量

○ 常包橋地点を基準地点として、流水の正常な機能を維持するために必要な流量は以下のとおりとする。

(通年)
 概ね0.16(m³/s)

構成員

丸亀市

※赤字、青字の対策を実施
(青字は、各構成員共通)

<令和6年度に提示した流域治水対策>

- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、侵食対策、土器川潮止堰更新
- ・雨水貯留施設整備【下水】
- ・**下水道事業の推進【下水】**
- ・雨水排水施設整備【下水】
- ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】
- ・小河川の河川整備(河道掘削等)
- ・**丸亀市総合排水計画の作成**
- ・治山施設の整備
- ・森林の整備・保全【林野】
- ・砂防施設の整備等
- ・**農地・ため池の保全・活用**
- ・既存の霞堤の保全
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進
- ・「多機関連携型タイムライン」の作成と訓練の実施
- ・広域避難の近隣市町連携
- ・水害リスク空白域の解消
- ・**ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組**
- ・**高潮ハザードマップの作成及び全戸配布**
- ・**要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保**
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・**国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施**
- ・**国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催**
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・水害リスクラインを活用した情報提供

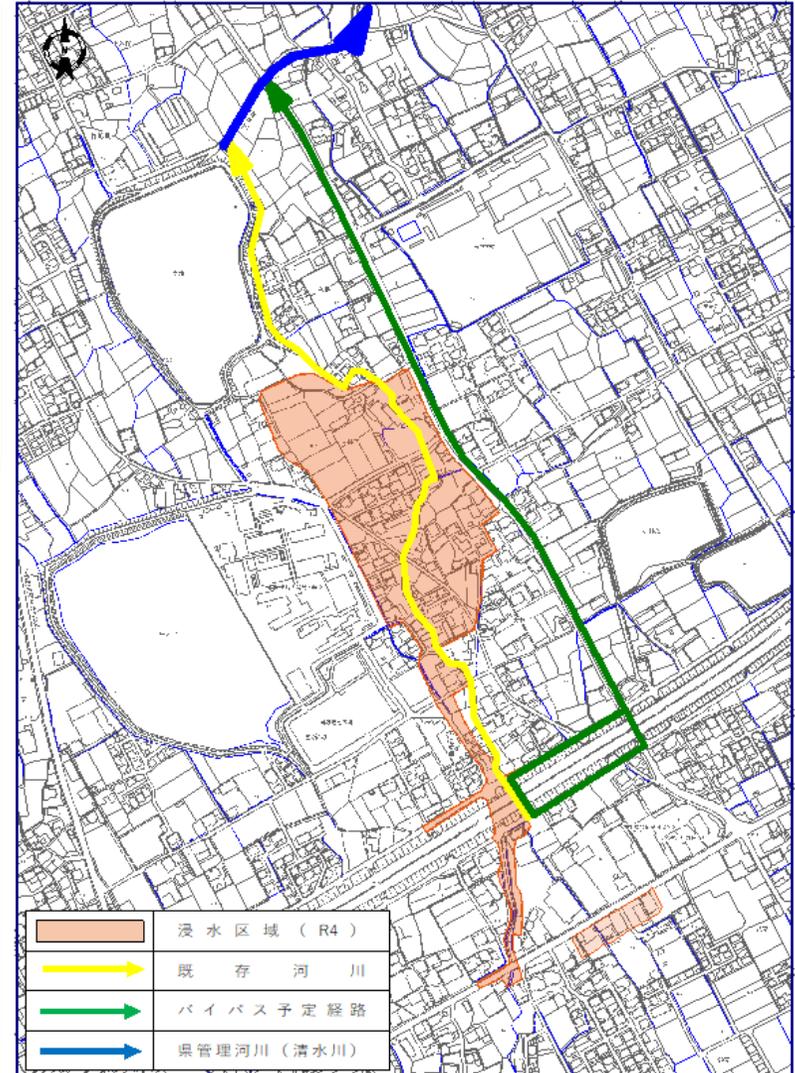
<令和7年度に取り組んだ流域治水対策>

- ・**総合排水計画実行への取組(清水川流域)**
- ・**下水道事業の推進【下水】**
- ・**各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【下水】**
- ・**農地・ため池の保全・活用**
- ・**城坤小学校の校庭貯留対策の設計**

【丸亀市】総合排水計画実行への取組（清水川流域）

- 総合排水計画において重点地区に指定した清水川流域における取組
- 浸水被害軽減に向け計画で目指す市管理河川のバイパス整備を具現化するための取組に着手

- 今年度の取組と今後の流れ
 - 既存河川での現地測量の実施
⇒ 既存河川の流下応力評価
 - バイパス予定路線の現地測量の実施
⇒ バイパス設置予定箇所の現状把握
- ↓
- BP整備に向けた基本計画の策定(次年度以降)
- ↓
- 浸水軽減に向けた事業実施



- 「三位一体」の取組
 - ◆ 上流域
普通河川
丸亀市
 - ◆ 下流域
土器川水系清水川
香川県
 - ◆ 最下流
1級河川土器川
国土交通省

【丸亀市】下水道事業の推進

➤土器排水区における浸水対策検討の結果、雨水幹線水路の流末にある雨水ポンプ場の排水能力を増強することが効果的な対策方法であったため、対策の実施に向け、下水道事業計画の策定を進める。

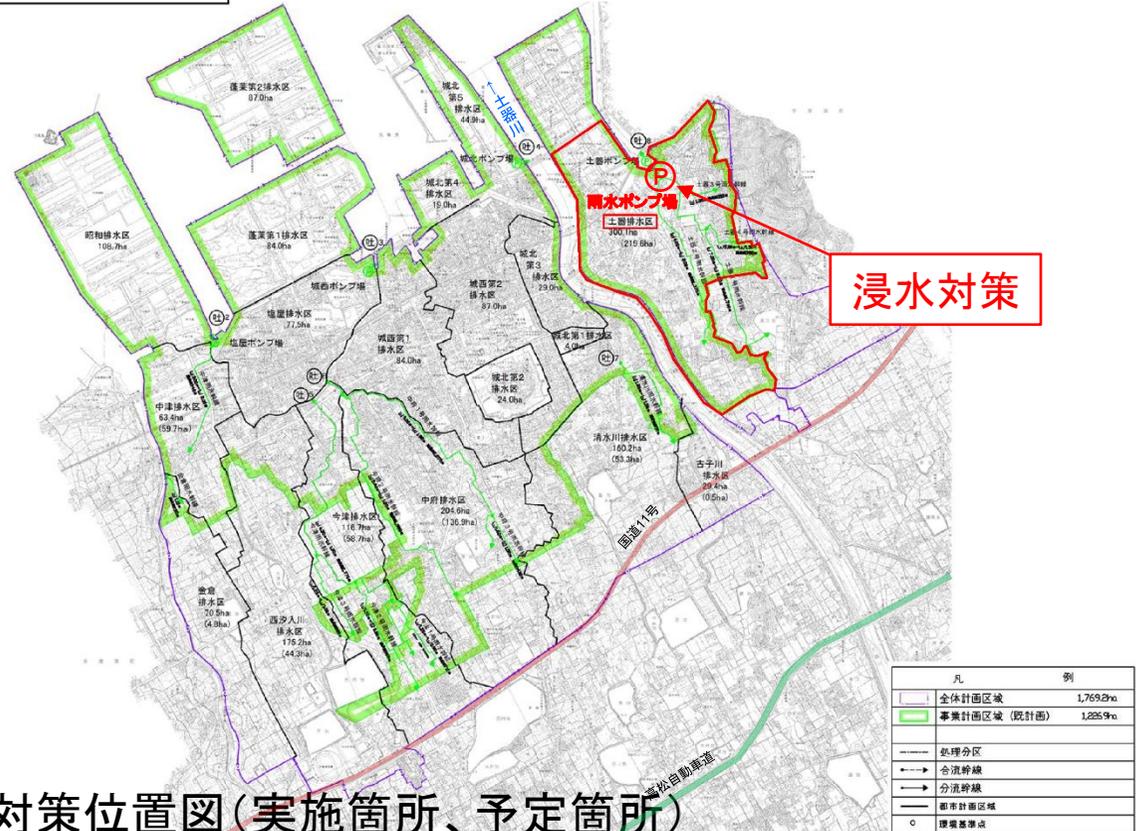
事業、対策の概要

- ・下水道事業(浸水対策)
- ・排水施設整備等
- ・浸水被害の軽減

排水施設整備等



丸亀市下水道計画図(単独公共下水道)



事業・対策位置図(実施箇所、予定箇所)

- 田んぼダムの取組については香川県と連携し継続的に推進する。
- ため池の低水位管理については効果が期待できるため池について管理者と協議を進め実施可能なため池から順次取り組んでいく。

・田んぼダム

香川県と連携し、土地改良区や大規模農業者等を中心に田んぼダムの推進を行っており、浸水被害を軽減させるため、浸水被害地域周辺などを中心に田んぼダムの推進を継続して取り組む。

・ため池低水位管理

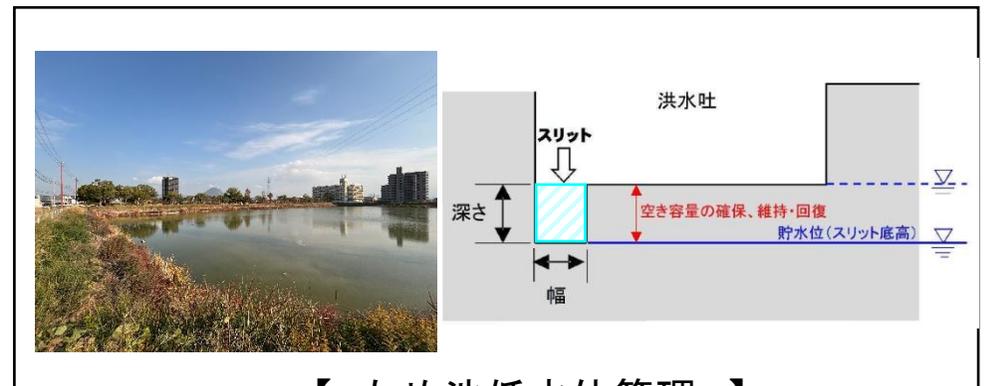
浸水被害地域の上流に位置し、浸水被害軽減に効果的なため池において、水位を計画的に低水位で管理し大雨時の貯留池として活用するため、ため池管理者等と協議を進めている。

馬池において低水位管理を実施する協議が整い、低水位管理に必要な施設改修を行う。

令和7年度：設計 令和8年度：洪水吐の改修工事（予定）



【 田んぼダム 】



【 ため池低水位管理 】

【丸亀市】城坤小学校の校庭貯留対策の設計

➤ 学校施設における校庭貯留対策については、暗渠排水による雨水浸透や校庭周囲に排水路・オリフィス柵を設け、流出抑制を行う。

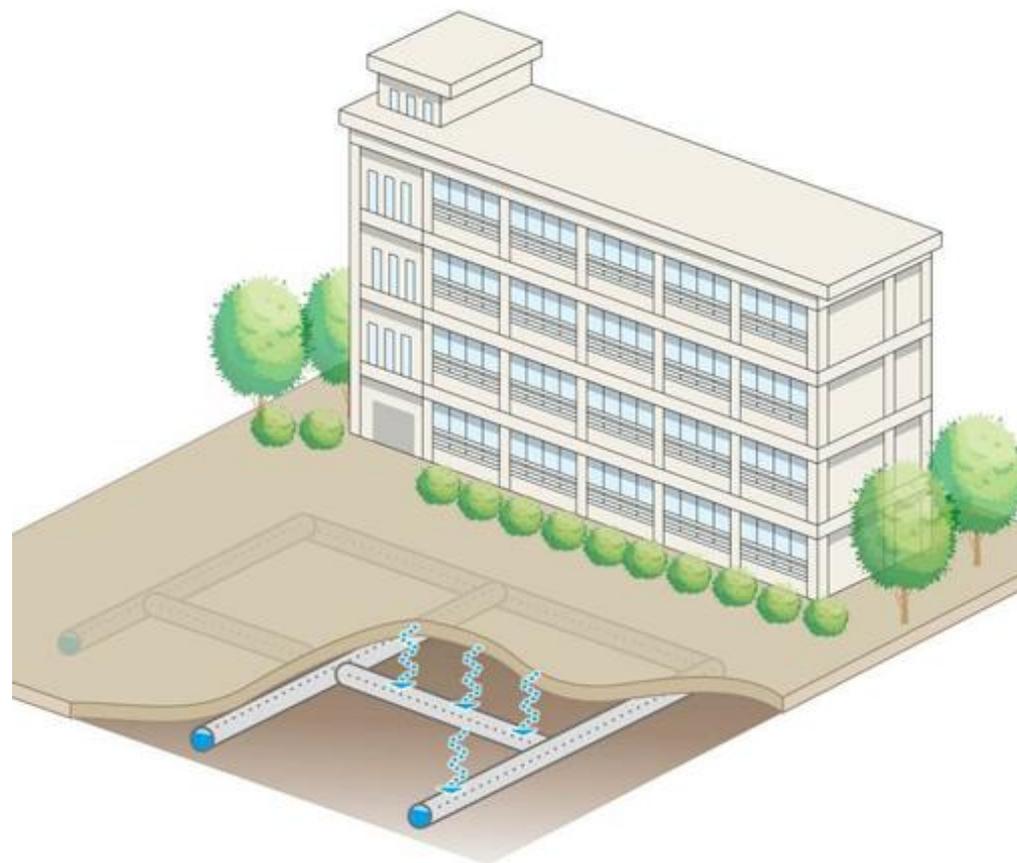
【小学校運動場整備イメージ】



暗渠トレンチ管



排水路・オリフィス柵



【事業の取り組み】

学校施設長寿命化改修、校舎改築整備に併せて順次整備予定。

- ・城坤小学校運動場整備実施設計(令和7年度完了)
- ・城坤小学校運動場整備(令和8年度予定)
- ・城東小学校運動場整備(令和9年度予定)

【丸亀市】R7年度リレー防災みらいサロン

- 丸亀市では、市内全地区の自主防災組織による合同防災訓練を実施した。
- 合同防災訓練は2部構成とし、前半では防災訓練を行い、後半では防災講演会を行った。

日時 令和8年1月17日(土)

場所 土器川体育センター

参加者(216人)

- ・ 丸亀市内17地区自主防災組織
- ・ 丸亀市社会福祉協議会
- ・ 丸亀市職員(危機管理課、地域づくり課)
- ・ 地域防災協定締結企業(9社)

防災訓練(講師:川西地区自主防災会、危機管理課)

- ① クラッシュ症候群救出訓練
- ② 担架搬送訓練、車いす搬送訓練、地震体験車訓練
- ③ 避難所設営訓練
- ④ 防災資機材取扱訓練
- ⑤ 炊き出し訓練

防災講演会

演題 「防災の『ぼ』! ~自分の事として考えて~」

講師 香川大学 危機管理先端教育研究センター 技術補佐員
高橋 真里 氏



防災資機材取扱訓練



防災講演会

構成員

坂出市

※赤字、青字の対策を実施
(青字は、各構成員共通)

<令和6年度に提示した流域治水対策>

- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、侵食対策、土器川潮止堰更新
- ・雨水貯留施設整備【下水】
- ・**下水道事業の推進【下水】**
- ・雨水排水施設整備【下水】
- ・**各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】**
- ・小河川の河川整備(河道掘削等)
- ・治山施設の整備
- ・森林の整備・保全【林野】
- ・砂防施設の整備等
- ・**農地・ため池の保全・活用**
- ・既存の霞堤の保全
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進
- ・「多機関連携型タイムライン」の作成と訓練の実施
- ・広域避難の近隣市町連携
- ・水害リスク空白域の解消
- ・**ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組**
- ・**要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保**
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施
- ・国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・水害リスクラインを活用した情報提供

<令和7年度に取り組んだ流域治水対策>

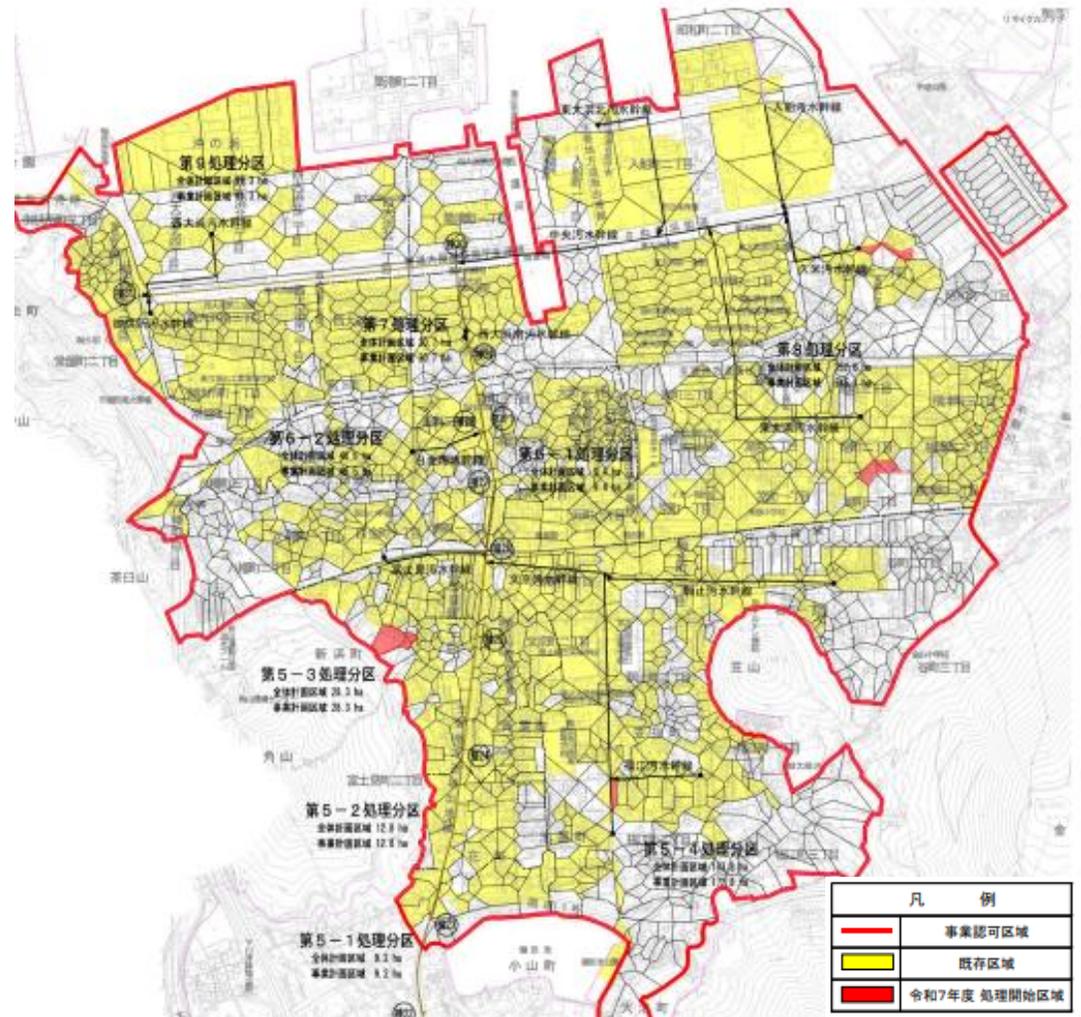
- ・**下水道事業の推進【下水】**
- ・**各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】**
- ・**農地・ため池の保全・活用**
- ・「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進
- ・**ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組**
- ・国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施
- ・**要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保**
- ・国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催

【坂出市】下水道事業の推進

▶事業認可区域665.1haのうち令和6年度整備済面積は356.27haとなっており、事業認可区域内の整備を進めているところである。

【事業の目的】

下水道の整備を図り、もって都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質の保全に資することを目的とする。



【坂出市】各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成

- ▶ 雨水貯留施設設置・改造補助金を交付している。
- ▶ 令和7年12月現在で、2件雨水貯留施設設置の申請がある。

【事業の目的】

雨水の有効利用および浄化槽の再利用を推進し、水資源および環境の保全を図り、もって本市が目指す節水型まちづくりに資することを目的として、雨水貯留施設を新設する者および公共下水道等を使用し、または新しく浄化槽を設置することにより不要になった浄化槽を雨水貯留施設に改造する者に対し、その費用の一部を補助する。

不要になった浄化槽を雨水貯留タンクに

雨水貯留施設設置・改造補助金について

渇水対策の一環として雨水を庭木等の散水に有効利用するため、雨水貯留施設を新設するかた および公共下水道等を使用し、または新しく浄化槽を設置することにより不要になった浄化槽を雨水貯留施設に改造するかたに補助金を交付しています。

1. 対象施設

雨水貯留施設(貯留タンク)を新設する場合

- ・貯水槽の容量が100リットル以上であること。
- ・固定して設置されていること。
- ・雨どい等に接続し、給排水のための配管その他の設備を備えていること。
- ・内部の清掃が可能な構造であること。

浄化槽を改造する場合

- ・既設の合併処理浄化槽または単独処理浄化槽からの転用

2. 補助対象者

- ・下記(1)(2)のいずれにも該当し、かつ、本市の市税を滞納していないかた

(1) 自己の居住を目的とした住宅(延べ床面積の2分の1以上を居住の目的とした小規模店舗併用住宅を含む。)を市内に有すること。

(2) (1)の住宅敷地内に、雨水貯留施設を新たに設置するための工事または不要になった浄化槽もしくは既存単独処理浄化槽を雨水貯留施設に転用するための改造の工事費用を自ら負担して行かた。

3. 補助金額

・設置工事または改造工事に要した経費の2分の1(上限5万円。ただし、坂出市内の下水道事業認可区域以外の地域で既設の単独処理浄化槽から転用する場合の上限額は9万円。)

※交付決定前に工事着手した場合は、補助金を受けられません。

※申請年度の3月末までに工事が完了するものに限りです。

※予算の範囲内での補助となります。

●申請をご希望のかたは、事前にお問い合わせください。



- ▶ため池管理の負担軽減と下流住民の被害回避と軽減を図ることを目的として、水位計・カメラの設置を推進。
- ▶豪雨時のため池低水位管理の推進。

・ため池水位計・カメラの設置

近年、ため池管理者の高齢化により、ため池の適切な管理を維持していくことが困難な状況になってきている。ため池の適切な管理は、下流域にある住宅地や商業施設、県道、国道などの公共施設などの保全に関わってくる。

そのため、ため池管理の負担軽減と下流住民の被害回避と軽減を図ることを目的とし、水位計・カメラの設置を推進していく。

水位計設置場所：**四手池**

水位計設置数：1基

・ため池低水位管理

近年、頻発する豪雨による被害を最小限に抑えるため豪雨が予想される際に、土地改良区を通じてため池管理者に対し、事前の注意喚起を行うなど低水位管理を促している。



【坂出市】水害リスクに対する理解促進の取組 R7年度リレー防災みらいサロン

親子で防災探偵団！ 防災ミッケIN坂出

親子で防災探偵団！
BOUSAI MIKKE
防災ミッケIN坂出

2025 避難所生活のアップデートと防災力アップ！
11.23(日) 9:30-14:00

会場：交流会の里おうごし 要事前申込 先着20組
〒762-0014 坂出市王冠町木沢1197番地8

11.09 申込締切

もしもに備えて親子で体験！
✓ 災害時の身近なもの活用術
✓ 避難所で活躍する電源CAR体験
✓ 避難所生活質向上会議

参加無料

BOUSAI MIKKE 「知恵」と「電力」で変える！
避難所生活向上ワークショップ

まずはみんなで発電！電源CAR体験で発電量「アイデアソン」でひらめき！
避難所生活の「困りごと」を解決する知恵と技術を学びます。
あがる「もしも」を体験し、災害を乗り切る力をつけましょう。

Part 1 体験ワーク！電気を知らない
避難所生活を向上させる知恵
身近な物を使った、非電力で役立つ実用的な防災スキルを習得します。

Part 2 発電ワーク！発電量を活用して
避難所生活の課題を解決
電源CARの電力を使うことで、避難所の生活課題がどこまで解決できるかを体験し、新たなひらめきを探ります。

Part 3 親子アイデアソン！
「避難所生活質向上」会議
1〜2の体験で発見した避難所での学びや気づきを話しましょう。「避難所の生活を豊かに、質を向上させるアイデア」をチームで考え、発表します。

Part 4 交流タイム！
熱々ピザを囲んで交流
イベント終了後は、ピザ屋で焼いた熱々のピザをみんなで一緒に食べましょう！学びと発見を共有しながら、参加者同士の交流を深めて、イベントは終了です。

日程・会場
日時 2025年11月23日(日)
会場 交流会の里おうごし 坂出市王冠町木沢1197番地8 交流会の里

お申し込み
定員 先着20チーム ※定員超過の場合は抽選
参加費 無料
募集 小学生以下を含む1組1チーム(2〜5名)
お申し込みはイベントサイト「Peatix (ピーティックス)」から！

お問い合わせ
BOUSAIミッケ実行委員会
info@ousai-mikke.com

開催目的

- ①避難所生活を向上させる知恵について学び、
- ②避難所生活の課題と解決方法について学習することにより、



家庭における
災害対応力の向上
を図る



PHOTO1



PHOTO2



PHOTO3



【事業の目的】

誰一人取り残さない方針のもと、災害時要支援者の個別避難計画を地域主導で行い、顔の見える関係を構築することで、平時には見守りネットワークとして、災害時の円滑な避難支援を実施することを目的として、個別避難計画の策定支援ならびに高齢者の夜間搬送訓練を実施。【実施日：令和7年11月16日】

もしもの災害にそなえて

あなたのことを、自治会、自主防災組織、民生委員、消防などにお知らせしてよいかお聞きします。

市では、「坂出市避難行動要支援者避難支援計画」に基づき、災害時に避難のための支援が必要な人を地域みんなで助ける仕組みを進めるため、自力、または家族の支援を受けての避難が困難で、自分の情報を避難支援等関係者（自治会、自主防災組織、民生委員等）に提供することに同意する方を把握しています。

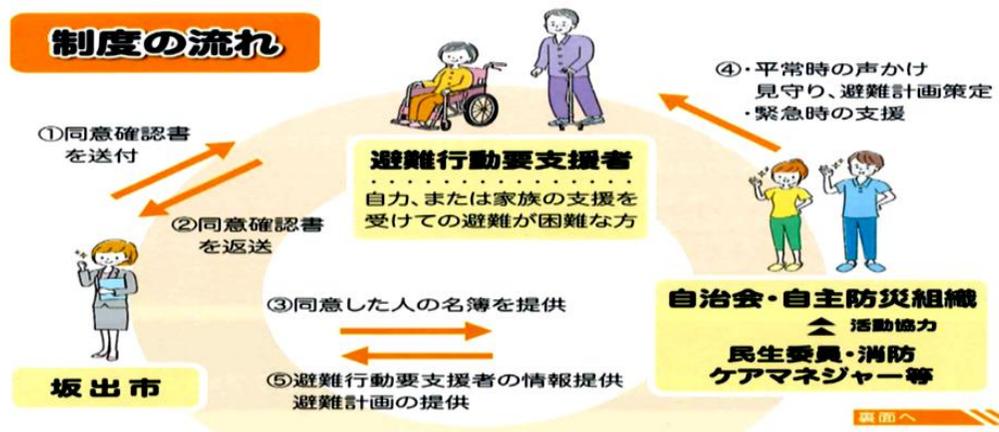
同意されましたら、避難支援等関係者に情報を提供し、登録情報の確認や避難計画作成のため、避難支援等関係者がご自宅を訪問することがあります。ご協力をお願いします。

調査対象となる方

自宅で生活し、次の要件のいずれかに当てはまる方

- ① 介護保険における要介護認定3以上を受けている方
- ② 身体障がい者手帳1・2級第1種を所持する方
- ③ 療育手帳(あ)およびAを所持する方
- ④ 精神障がい者保健福祉手帳1・2級を所持する方

制度の流れ



【坂出市】市総合防災訓練の実施

【事業の目的】

南海トラフ巨大地震の発生時には、地震の揺れによる建物被害、河川決壊、大規模火災、液状化および土砂災害などマルチハザードが同時に発生する可能性があることから、市内加茂地区において総合防災訓練を実施。

【実施日：令和7年11月9日】



【坂出市】洪水ハザードマップの作成

【事業の目的】

水防法の改正により、県より小規模河川の洪水浸水想定区域が示されたことから、災害時の市民の避難行動を迅速かつ円滑に行うことを目的として、洪水ハザードマップを更新し、全戸配布を行う。

併せて、内水氾濫の浸水想定区域図についても今年度、作成予定

【ハザードマップ作成の対象河川】

- ・土器川水系
- ・綾川水系
- ・大東川水系
- ・青海川水系
- ・玉川水系
- ・野田川水系

尚、本市では近年、外国人住民が増加していることから、更新予定のハザードマップは**多言語対応**の電子データを作成し、HPにアップすることにより、周知を図る。

構成員

善通寺市

※赤字、青字の対策を実施
(青字は、各構成員共通)

<令和6年度に提示した流域治水対策>

- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、侵食対策、土器川潮止堰更新
- ・雨水貯留施設整備【下水】
- ・下水道事業の推進【下水】
- ・雨水排水施設整備【下水】
- ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】
- ・小河川の河川整備(河道掘削等)
- ・治山施設の整備
- ・森林の整備・保全【林野】
- ・砂防施設の整備等
- ・農地・ため池の保全・活用
- ・既存の霞堤の保全
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進
- ・「多機関連携型タイムライン」の作成と訓練の実施
- ・広域避難の近隣市町連携
- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施
- ・国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・水害リスクラインを活用した情報提供

<令和7年度に取り組んだ流域治水対策>

- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組

▶ 防災専門官によるハザードマップを活用した講演会（R7. 11. 21開催）



■ 総本山善通寺の職員対象（約40名）

- ・善通寺市の防災専門官による、総本山善通寺の職員を対象とした防災講演会を実施。
- ・ハザードマップを活用して、総本山善通寺施設内の浸水想定区域の確認や土砂災害警戒区域を確認。
- ・集中豪雨や地震によるため池決壊などをため池ハザードマップを利用して、参加者がどの場所に避難するかを職員自ら想定してもらい、適切な避難行動について、職員と共に考えていくことで、地域の防災意識の向上を図ることを目的。
- ・防災専門官による分かりやすい解説と、参加者との意見交換を通じて、施設の災害リスクと適切な対応策について、理解をより深めることができる。



▶ 善通寺市では、地区民生委員の会に対し防災専門官による防災研修会を実施（R7. 8. 19開催）



- 地区民生員会員・社会福祉協議会（約20名）
- ハザードマップを活用して、地域内の浸水想定区域の確認やため池決壊危険区域を確認。
- ハザードマップを利用して、地区内の要配慮者がどの地域に多く在宅しているかなどを把握し、声かけをして避難するかを自ら想定してもらった。
- 避難所や地域で決めている避難所（集会場）などを確認して今後の備蓄物の内容などを検討

▶ 善通寺市では、市内小学生に対して、防災専門官による防災教室を実施

◆ 市内小学校(与北小学校(9/12)・西部小学校(9/19)・中央小学校(11/27))約80名



ハザードマップを確認



防災クイズ



防災倉庫の見学



ため池ハザードマップの見方

- ハザードマップを活用して、学校区内の浸水区域の確認や、ため池決壊危険区域を確認。
- 市役所が保管している市内全体の備蓄物資について、実際に現地で確認していただき、その保管状況や数量を直接ご覧いただくことで、備蓄の実態を具体的に把握。

構成員

<令和6年度に提示した流域治水対策>

- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、侵食対策、土器川潮止堰更新
- ・**雨水貯留施設整備【下水】**
- ・下水道事業の推進【下水】
- ・**雨水排水施設整備【下水】**
- ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】
- ・小河川の河川整備(河道掘削等)
- ・治山施設の整備
- ・森林の整備・保全【林野】
- ・砂防施設の整備等
- ・**農地・ため池の保全・活用**
- ・既存の霞堤の保全
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進
- ・「多機関連携型タイムライン」の作成と訓練の実施
- ・**広域避難の近隣市町連携**
- ・水害リスク空白域の解消
- ・**ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組**
- ・**要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保**
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施
- ・国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・水害リスクラインを活用した情報提供

宇多津町

※赤字、青字の対策を実施
(青字は、各構成員共通)

<令和7年度に取り組んだ流域治水対策>

- ・**ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組**

【宇多津町】ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進

- ・自主防災組織や自治会、町内企業などからの依頼を受け、町から防災指導員を派遣し、防災講話や防災訓練などを行った。
 - ・また、園児等の保護者が集まる施設に消防団員を派遣し、水害などの話を踏まえながら防災講話等を行った。
- 【令和7年11月10日ほか複数回実施】



【宇多津町】R7年度リレー防災みらいサロン

- 宇多津町では、町PTA連絡協議会と協力し、「おやこでぼうさいパワーアップだいさくせん」を開催
- 日本赤十字社、かがわ自主ぼう連絡協議会、香川県防災士会坂出宇多津支部、NTTフィールドテクノ、西村ジョイ、陸上自衛隊、町危機管理課により各体験ブースを設置し、参加者がグループごとに体験。

日 時 令和7年12月14日（日）
場 所 宇多津町保健センター及び町役場
対象者 町内園児児童生徒、保護者及び一般参加者
参加人数 250名（来賓関係者含む）
内 容 ・AEDの使い方・ダンボールベッド、パーディションの作り方
・毛布担架・携帯トイレの使い方・マンホールトイレの使い方
・水消火器訓練・応急手当訓練・特設公衆電話の使い方
・防災用品展示・自衛隊炊き出し訓練（カレーライス）



【宇多津町】R7年度リレー防災みらいサロン

訓練ローテーション（グループ毎タイムスケジュール）

グループ	9時20分～9時40分	9時40分～10時	10時～10時20分	10時20分～10時40分	10時40分～11時	11時～11時20分	11時20分～11時40分	11時40分	11時40分～12時	12時～12時20分
A	①AED蘇生訓練 (4階)	②段ボールパター ションベッド設置訓練 (4階)	③毛布担架搬送訓練 (4階)	④携帯トイレの使い 方訓練(2階)		⑦日用品を活用した 応急手当(2階)	特設公衆電話訓練 (2階)		⑥水消火器訓練 (南駐車場)	⑤マンホールトイレの説 明(南駐車場)
B	②段ボールパター ションベッド設置訓練(4 階)	③毛布担架搬送訓練 (4階)	④携帯トイレの使い 方訓練(2階)	⑦日用品を活用した 応急手当(2階)		特設公衆電話訓練 (2階)	⑥水消火器訓練 (南駐車場)		⑤マンホールトイレの説 明(南駐車場)	①AED蘇生訓練 (4階)
C	③毛布担架搬送訓練 (4階)	④携帯トイレの使い 方訓練(2階)	⑦日用品を活用した 応急手当(2階)	特設公衆電話訓練 (2階)		⑥水消火器訓練 (南駐車場)	⑤マンホールトイレの説 明(南駐車場)		①AED蘇生訓練 (4階)	②段ボールパター ションベッド設置訓練(4 階)
D	④携帯トイレの使い 方訓練(2階)	⑦日用品を活用した 応急手当(2階)	特設公衆電話訓練 (2階)	⑥水消火器訓練 (南駐車場)		⑤マンホールトイレの説 明(南駐車場)	①AED蘇生訓練 (4階)		②段ボールパター ションベッド設置訓練(4 階)	③毛布担架搬送訓練 (4階)
E	⑦日用品を活用した 応急手当(2階)	特設公衆電話訓練 (2階)	⑥水消火器訓練 (南駐車場)	⑤マンホールトイレの説 明(南駐車場)		①AED蘇生訓練 (4階)	②段ボールパター ションベッド設置訓練 (4階)		③毛布担架搬送訓練 (4階)	④携帯トイレの使い 方訓練(2階)
F	特設公衆電話訓練 (2階)	⑥水消火器訓練 (南駐車場)	⑤マンホールトイレの説 明(南駐車場)	①AED蘇生訓練 (4階)		②段ボールパター ションベッド設置訓練(4 階)	③毛布担架搬送訓練 (4階)		④携帯トイレの使い 方訓練(2階)	⑦日用品を活用した 応急手当(2階)
G	⑥水消火器訓練 (南駐車場)	⑤マンホールトイレの 説明(南駐車場)	①AED蘇生訓練 (4階)	②段ボールパター ションベッド設置訓練 (4階)		③毛布担架搬送訓練 (4階)	④携帯トイレの使い 方訓練(2階)		⑦日用品を活用した 応急手当(2階)	特設公衆電話訓練 (2階)
H	⑤マンホールトイレの 説明(南駐車場)	①AED蘇生訓練 (4階)	②段ボールパター ションベッド設置訓練 (4階)	③毛布担架搬送訓練 (4階)		④携帯トイレの使い 方訓練(2階)	⑦日用品を活用した 応急手当(2階)		特設公衆電話訓練 (2階)	⑥水消火器訓練 (南駐車場)
					給水休憩及び記念品 配布(4階集合)				カレー配膳班離 脱	

(A、B、C：宇小と幼稚園) (D、E、F：北小学校) (G：中学校) (H：一般) *なお、来賓は自由に見学・体験ください。

2025 12月14日 ぼうさい パワーアップ/だいさくせん

8つのミッションをクリアして、ぼうさいカアッ!

- 1 AEDを使ってみよう
- 2 段ボールベッド/パーテーションを作ってみよう!
- 3 毛布で人を運んでみよう!
- 4 トイレの「隠してたどろろ」を解消
- 5 マンホールがトイレに変わる?
- 6 消火器を使ってみよう
- 7 家にあるもので応急手当をしてみよう
- 8 たき出しカレー

お申し込みはこちらのQRから

(学校配布チラシ)

次 第

- ① 会長あいさつ
- ② 来賓あいさつ
- ③ 担当者説明
- ④ シェイクアウト訓練
- ⑤ 各訓練開始
- ⑥ 休憩(参加賞配布)
- ⑦ 各訓練再開
- ⑧ 炊き出し訓練(自衛隊カレー)試食

構成員

琴平町

※赤字、青字の対策を実施
(青字は、各構成員共通)

<令和6年度に提示した流域治水対策>

- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、侵食対策、土器川潮止堰更新
- ・雨水貯留施設整備【下水】
- ・下水道事業の推進【下水】
- ・雨水排水施設整備【下水】
- ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】
- ・小河川の河川整備(河道掘削等)
- ・治山施設の整備
- ・森林の整備・保全【林野】
- ・砂防施設の整備等
- ・農地・ため池の保全・活用
- ・既存の霞堤の保全
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進
- ・「多機関連携型タイムライン」の作成と訓練の実施
- ・広域避難の近隣市町連携
- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施
- ・国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・水害リスクラインを活用した情報提供

<令和7年度に取り組んだ流域治水対策>

- ・ハザードマップの更新作業

【琴平町】ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組

- ▶ 令和2年度に「琴平町総合ハザードマップ」を作成後、町内全戸に配布し、自主防災会、各学校等で出前講座を実施した際には、ハザードマップの活用方法を説明した。今後もハザードマップの活用、周知等を通じて理解広めることを推進する予定。

ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組

防災出前講座において琴平町で作成している「琴平町総合ハザードマップ」の活用方法を周知し、住民へ水害リスクの周知等を実施した。

【令和7年度防災出前講座実施団体】

令和7年9月24日

・琴平老人の家(25人)



【琴平町】 R7年度リレー防災みらいサロンの概要

【事業の目的】

琴平町では、身近な災害リスクに対する理解促進のため、令和7年7月14日(月)に「南海トラフ地震に備える自助、共助」について講演を頂きました。「災害に強い地域づくり」を目指すための「人材育成と地域連携」を継続して推進していくためには、地域や組織・団体の「つながりの輪」を拡大することが重要であり交流の場を増やし、「楽しく学び、つながり・知り合う」機会を増やすことを目的として国土交通省 四国地方整備局 香川河川国道事務所協賛の基、開催しました。

令和7年7月14日(月)
ワークショップ開催状況

中讃地域 防災・減災・縮災 ネットワーク・プロジェクト 2025.7.14
令和7年度 リレー防災みらいサロン

カフェスタイル 座談会
自助、共助に関する声

話題提供
南海トラフ地震に備える 自助、共助
小島いづみ 前南海トラフ経験しました
香川大学 IECMS地域強靱化研究センター
能登半島地震
近所と防災活動の連携
香川県 32.9% 全国41.2%
南海トラフ地震
発表のあと、何か行動した?
昭和56年
川や谷を埋め立てた土地
地震が弱い

開会挨拶
小縣 真弓
琴平町企画防災課 課長
災害は忘れた頃にやってくる
被害は止められないが
被害は小さえられる
地域のみなさんの力が必す

コメント
人から聞いた話のほうが何かしらうりとなる。小青年も共有していきましょう
香川大学 磯打 准教授
できることから少しずつやって不安を減らしていきたいと思います
香川大学 井面 教授
土壌・家・設備・家具
安全が3層によし
交流の場がとても大切
知って考えよう 気づき 意識 行動
〈問題は継続〉
継続する為の
方法は人に話すこと
香川大学 白木 名誉教授
まずは自分!
備蓄の見直し
川の水位心配
女性として困ること身のまわりのこと
自助共助の理想
防犯の大切さ
家族にも伝えたい

座談会
準備していない不安に
30秒
地震到着までの
何ができるか
断水 停電
家の安全
過去の被災経験から考えてみる
防災グッズを普段から試してみよう
携帯用トイレの用意
家族の避難場所の確認
まずは自分ひとごと
自助共助の大切さ
家族にも伝えたい
自助共助の大切さ
家族にも伝えたい

その他
「問題が継続」
継続する為の
方法は人に話すこと
香川大学 白木 名誉教授
自家は大丈夫? 旗も立ててチェック!
満濃池ハザードマップ
もしも、大雨の時に地震で満濃池が決壊したら!
自宅の位置を確認してみよう
水深 何メートルくらいかな...?
満濃池 あつたら...?
自分の家は水に浸かる?大丈夫?
FM香川 ほうごう
P39.39番こぼれみどりマイ避難先チェック
FM香川 ほうごう
P39.39番こぼれみどりマイ避難先チェック
FM香川 ほうごう
P39.39番こぼれみどりマイ避難先チェック



構成員

多度津町

※赤字、青字の対策を実施
(青字は、各構成員共通)

<令和6年度に提示した流域治水対策>

- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、侵食対策、土器川潮止堰更新
- ・雨水貯留施設整備【下水】
- ・**下水道事業の推進【下水】**
- ・**雨水排水施設整備【下水】**
- ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】
- ・小河川の河川整備(河道掘削等)
- ・治山施設の整備
- ・森林の整備・保全【林野】
- ・砂防施設の整備等
- ・**農地・ため池の保全・活用**
- ・既存の霞堤の保全
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進
- ・「多機関連携型タイムライン」の作成と訓練の実施
- ・**広域避難の近隣市町連携**
- ・水害リスク空白域の解消
- ・**ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組**
- ・**要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保**
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・**国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施**
- ・**国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催**
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・水害リスクラインを活用した情報提供

<令和7年度に取り組んだ流域治水対策>

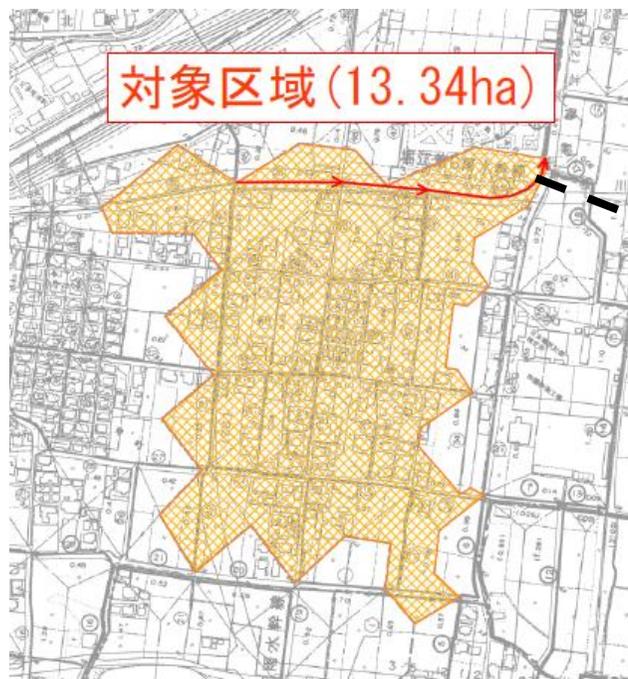
- ・**雨水排水施設整備【下水】**
- ・**ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組**

【多度津町】雨水排水施設整備

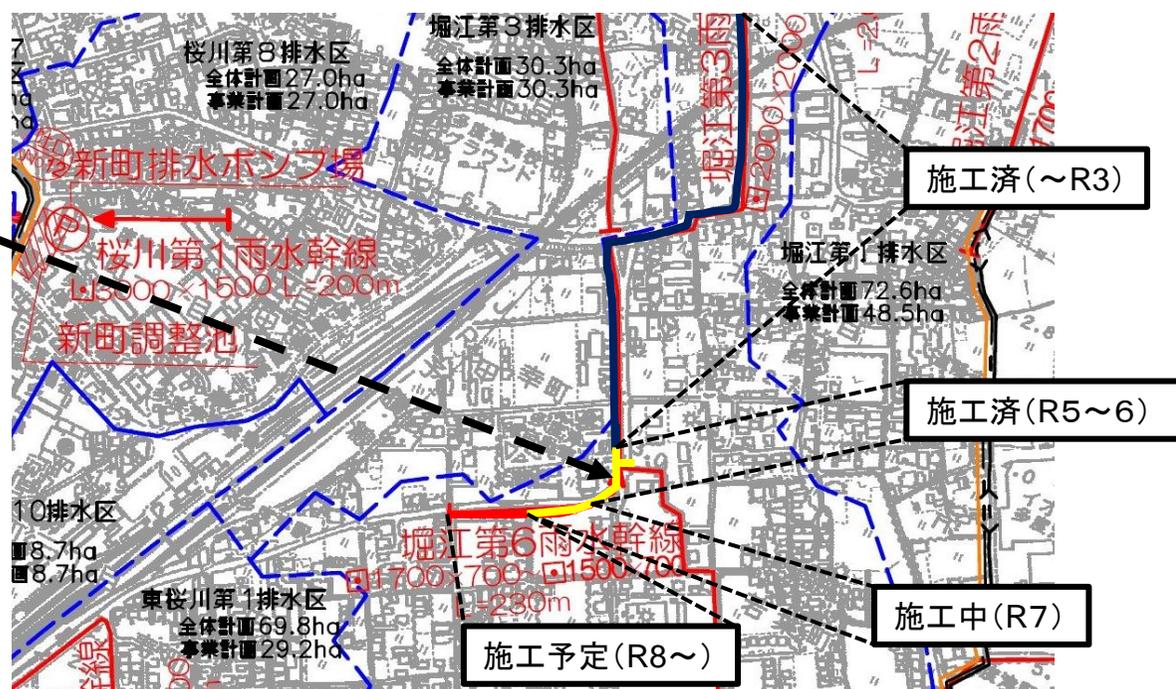
- 堀江第2排水区堀江第6雨水幹線等の整備を令和5年度に開始。
- 総延長381mに対し、令和6年度末で105.1m施工完了。
- 令和7年度中に170.9mまで施工し、令和8年度以降残区間を施工予定。

事業の概要

- ・目的：下流地域の浸水被害軽減
- ・対策諸元：雨水管渠 □2,500×1,200(L=30.4m)、□1,700×700(L=141.9m) 等
対象区域 13.34ha
- ・目標：対象区域の雨水幹線を早期に整備し、排水能力を向上させる。



対象区域



多度津町下水道計画図

【多度津町】 R7年度リレー防災みらいサロンの概要

➤ 多度津町では、白方地区において防災訓練を実施した。
給水体験や煙体験、消火訓練、浸水AR体験や重ねるハザードマップ体験、家具類転倒防止対策等のブースを設け、訓練を行った。
訓練には、白方地区の自治会をはじめ、町内の自主防災組織や社協等の方々が参加された。

日 時 令和7年11月30日（日）

場 所 多度津町立白方小学校



構成員

<令和6年度に提示した流域治水対策>

- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、侵食対策、土器川潮止堰更新
- ・雨水貯留施設整備【下水】
- ・下水道事業の推進【下水】
- ・雨水排水施設整備【下水】
- ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】
- ・**小河川の河川整備(河道掘削等)**
- ・治山施設の整備
- ・森林の整備・保全【林野】
- ・砂防施設の整備等
- ・**農地・ため池の保全・活用**
- ・既存の霞堤の保全
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進
- ・「多機関連携型タイムライン」の作成と訓練の実施
- ・**広域避難の近隣市町連携**
- ・水害リスク空白域の解消
- ・**ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組**
- ・**要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保**
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施
- ・国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・水害リスクラインを活用した情報提供

まんのう町

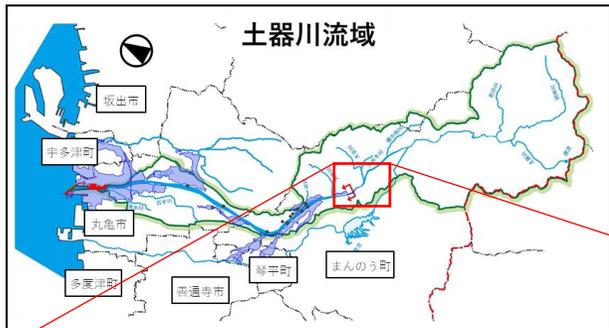
※赤字、青字の対策を実施
(青字は、各構成員共通)

<令和7年度に取り組んだ流域治水対策>

- ・**小河川の河川整備(河道掘削等)**
- ・治山施設の整備
- ・**農地・ため池の保全・活用**
- ・**ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組**
- ・**要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保**

【まんのう町】農地・ため池の保全・活用（圃場整備と田んぼダム）

- 土器川流域の治水対策を促進するため、香川県とまんのう町が連携し、流域治水を推進。
- また、8箇所の圃場整備では、18.5ha(香川県・団体営)の水田にせき板を配布し、水田への湛水能力をさらに向上させ、下流域の湛水被害のリスク軽減に貢献。また、多面的機能支払交付金事業においても、15.1haの水田に対し同様の事業を実施。
- 土器川上流域の3箇所の圃場整備(29.1ha)を推進し、畦畔の強化などにより水田への湛水能力を向上させる。



現状

農地が小さく、不整形
排水不良
狭い農道、進入路
用排水路に土砂堆積
草の繁茂

整備内容

大区画、整形田
畦畔の強化
暗渠排水
計画的な農道整備
パイプライン化
コンクリート製開水路
環境水路の整備 等

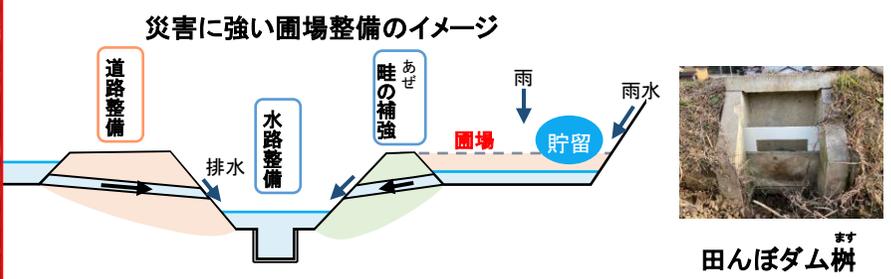
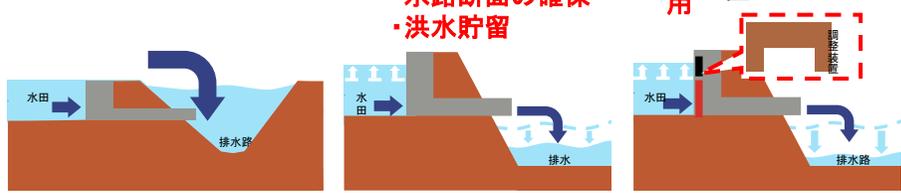
将来

農作業の重労働化
耕作放棄地の増加

効果

集落営農組織化
大型機械化
計画的な土地利用
洪水抑制
・水路管理の簡素化
・水路断面の確保
・洪水貯留

調整装置を兼ねるせき板を設置
圃場を使った洪水抑制効果を最大限活用



- ・用水路と排水路の分離
- ・法勾配の緩傾斜化
- ・畦の補強
- ・大雨時の畦畔の崩壊防止
- ・一時的な貯留効果

【まんのう町】 R7年度リレー防災みらいサロンの概要

➤まんのう町では、小学校の防災教育・訓練への支援、地域の特性に応じた防災訓練支援を実施するなど、実践的訓練を通じ防災対策、防災意識の高揚を図った。また、年間を通じ自治会固有の地域特性に応じた防災対策の講話を行った。

- ①小学校で実施された「親子防災の集い」を支援し、親子が一緒にできる防災対策（応急救護、災害用トイレの使い方、避難所の設営など）を行い防災意識の高揚を図った。
- ②各地区単位で行われる防災訓練に参加し、倒壊家屋からの救出要領、避難所の開設要領などを展示・体験するなど「万が一の場合の行動要領」、「自助・共助の重要性」を説明した。
- ③防災士会等と協力し、平時の防災対策、家具の固定要領などを具体的に説明し啓蒙活動を行った。

① 小学校での親子防災の集いを支援(11/15)

- 親子が一緒にできる実践的防災訓練を実施
- 応急救護の要領、担架づくり
災害用トイレの使い方などを体験
- 体育館で間仕切りテント
簡易トイレなどの設営を実施



② 地区単位の防災訓練を支援(12/7・12/14)

- 持ち出し品の展示・説明
- 倒壊家屋からの救助要領



○担架の作り方



○キッチンカー協会と協力

③ 防災士会と協力した啓蒙活動(12/14)

- 公民館文化祭などに参加
防災クイズ、持ち出し品の展示
- 防災訓練の場を利用し、模型
を使って家具の固定要領など
を具体的に説明し地震に対す
る備えを啓蒙



構成員

香川県

※赤字、青字の対策を実施
(青字は、各構成員共通)

<令和6年度に提示した流域治水対策>

- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、侵食対策、土器川潮止堰更新
- ・雨水貯留施設整備【下水】
- ・下水道事業の推進【下水】
- ・雨水排水施設整備【下水】
- ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】
- ・小河川の河川整備(河道掘削等)
- ・治山施設の整備
- ・森林の整備・保全【林野】
- ・砂防施設の整備等
- ・農地・ため池の保全・活用
- ・既存の霞堤の保全
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進
- ・「多機関連携型タイムライン」の作成と訓練の実施
- ・広域避難の近隣市町連携
- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施
- ・国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・水害リスクラインを活用した情報提供

<令和7年度に取り組んだ流域治水対策>

- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、侵食対策、土器川潮止堰更新
- ・小河川の河川整備(河道掘削等)
- ・砂防施設の整備等
- ・治山施設の整備
- ・森林の整備・保全【林野】

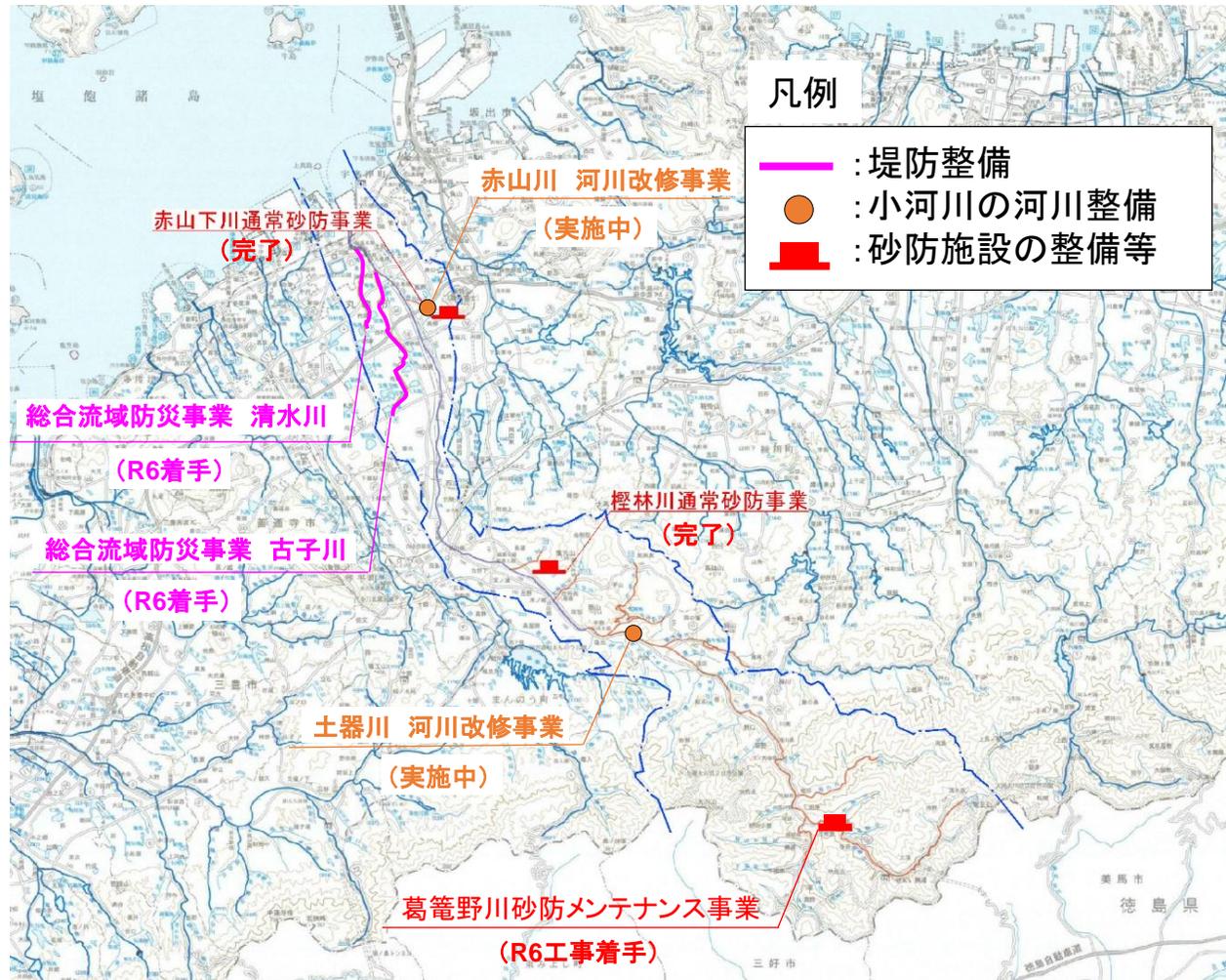
- 総合流域防災事業清水川及び、総合流域防災事業古子川を実施。
- 赤山川河川改修事業及び、土器川河川改修事業を実施。
- 葛箆野川砂防メンテナンス事業を実施。



○総合流域防災事業 清水川



○葛箆野川砂防メンテナンス事業



流域治水の取組箇所図

- 「農地保全対策」については、引き続き各種制度を活用し荒廃農地の発生を防止し水田貯留機能を保全。さらに水田貯留機能を強化するため、**田んぼダムの取組みを推進しており、取組み面積が拡大している。**
- 「ため池管理の周知・啓発」については、今年度の説明会で監視・管理体制の強化を図る一環として水位計等の設置を推進。今後、理解を得られた箇所から設置し事前放流等を促進していく。

■農地保全対策の概要

水田の貯留機能を保全するため、日本型直接支払制度、基盤整備事業を活用し荒廃農地の発生を防止する。

さらなる水田貯留機能の強化

田んぼダムの取組みに向けた環境整備



農家への普及啓発活動

- ・説明会の実施
- ・PR動画の作成
- ・広報用チラシの配布
- ・農業者向け機関誌でのPR

一般県民への広報活動

- ・ホームページへの掲載
- ・PR看板の設置

取組み面積 (R7.10月時点)

- ・約595ha で実施中



■ため池管理の周知啓発の概要

香川県ため池保全管理協議会等により、適正な保安全管理、計画的な防災工事を図るとともに、監視・管理体制の強化を啓発する。

体制強化のため、水位計やカメラを設置

事前放流に向けた環境整備



ため池水位計設置箇所

【香川県森林・林業政策課】 治山施設の整備、森林の整備

- 三野谷地区の対策を実施中。前の川地区については令和7年7月に竣工した。
三野谷地区については令和7年度の対策完了を目標に、事業を実施中。
造林補助事業による森林整備を実施。

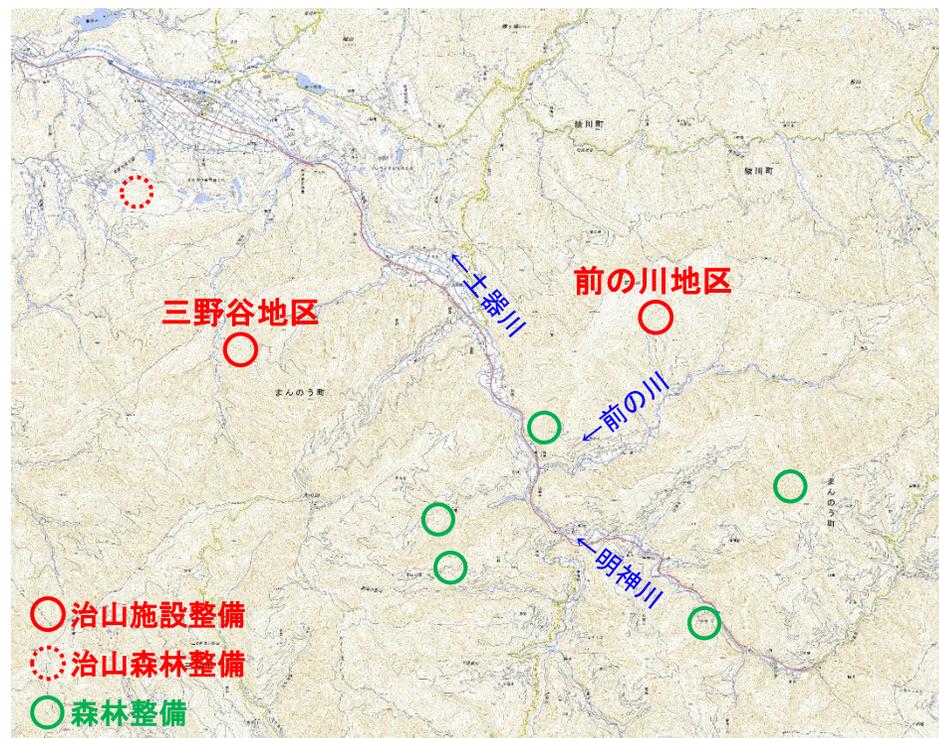
- 森林の有する土砂流出防止や水源かん養機能等の公益的機能の適切な発揮に向け、森林整備を実施する。
- 土石流や山崩れ、落石といった様々な山地災害によって被災した森林の復旧工事を行い、更なる被害の拡大を防止する。
- 災害の発生するおそれのある地区では、治山ダム等の治山施設を設置するなど、防災・減災、国土強靱化に向けて取り組む。



＜森林整備による公益的機能の向上＞



＜治山事業の実施による流木・土砂の流出抑制＞



構成員

林野庁
香川森林
管理事務所

※赤字の対策を実施

＜令和6年度に提示した流域治水対策＞

- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、侵食対策、土器川潮止堰更新
- ・雨水貯留施設整備【下水】
- ・下水道事業の推進【下水】
- ・雨水排水施設整備【下水】
- ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】
- ・小河川の河川整備(河道掘削等)
- ・治山施設の整備
- ・**森林の整備・保全【林野】**
- ・砂防施設の整備等
- ・農地・ため池の保全・活用
- ・既存の霞堤の保全
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進
- ・「多機関連携型タイムライン」の作成と訓練の実施
- ・広域避難の近隣市町連携
- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施
- ・国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・水害リスクラインを活用した情報提供

＜令和7年度に取り組んだ流域治水対策＞

- ・**森林の整備・保全【林野】**

令和7年度実施箇所について

- 令和7年度治山工事及び保安林整備は実施していません。
- なお、流域治水に資する森林整備について、植付1箇所4.9ha、下刈6箇所27.6haをまんのう町勝浦や造田の国有林で実施。

令和7年度治山工事や保安林整備の実施位置図

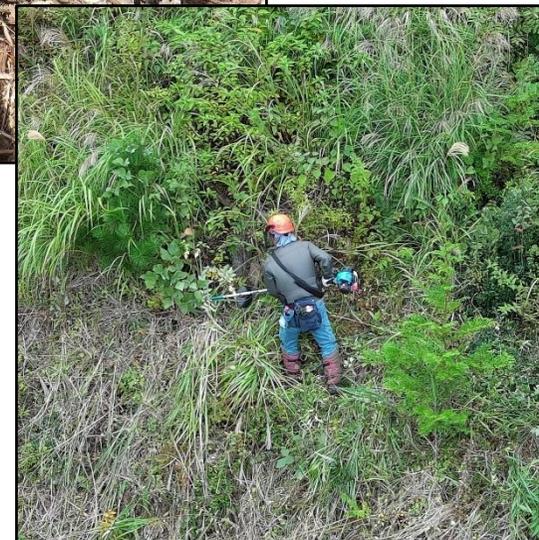


令和7年度治山工事や保安林整備の実施箇所

工事番号	工事名称	工事場所	工事概要	実行区分	備考
	実施なし				



植付作業



下刈作業

構成員

森林整備 センター

※赤字の対策を実施

<令和6年度に提示した流域治水対策>

- ・堤防整備(橋梁架替含む)、河道掘削、侵食対策、土器川潮止堰更新
- ・雨水貯留施設整備【下水】
- ・下水道事業の推進【下水】
- ・雨水排水施設整備【下水】
- ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成【都市】
- ・小河川の河川整備(河道掘削等)
- ・治山施設の整備
- ・**森林の整備・保全【林野】**
- ・砂防施設の整備等
- ・農地・ため池の保全・活用
- ・既存の霞堤の保全
- ・不動産関係業界と連携した水害リスクに関する情報の解説
- ・「中讃地域 防災・減災・縮災ネットワーク」構築・推進
- ・「多機関連携型タイムライン」の作成と訓練の実施
- ・広域避難の近隣市町連携
- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- ・国・県・市町など関係機関が連携した総合水防訓練の実施
- ・国・県・市町など土器川水防連絡協議会の開催
- ・洪水予測等のプッシュ型情報提供
- ・水害リスクラインを活用した情報提供

<令和7年度に取り組んだ流域治水対策>

- ・**森林の整備・保全【林野】**

流域における対策（水源林造成事業による森林の整備・保全）

○ 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の生長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

○ 水源林造成事業は、水源の涵養上重要な奥地水源地域の民有保安林のうち、土地所有者の自助努力等によって適正な森林整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。

水源林造成事業の流れ



○ 土器川流域における水源林造成事業地は、**3カ所**（森林面積約**60ha**）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。



II これまでの事業実績（過去5年間の実績）

	R3	R4	R5	R6	R7	計
水源林造成事業	7	15	20	5	3	50

※森林整備面積 単位：ha

III 徳島水源林整備事務所管内の水源林整備状況

針広混交林

育成複層林

間伐実施前

間伐実施後

構成員	防災気象情報の提供
気象庁	<p>①令和8年出水期から開始予定の「新しい防災気象情報」の説明</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 情報名称の変更、警戒レベル4相当となる危険警報の新設、洪水関係の情報変更、気象防災速報の新設など、現行の大雨警報・注意報などの気象庁が発表する防災気象情報が大きく変わる。
	<p>②自分事化に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 地域における気象防災支援強化等に関する取組として、高松市教育委員会主催の高松市防災教育講師派遣事業へ参加

令和8年出水期から開始予定の「新しい防災気象情報」の説明

情報名称の変更、警戒レベル4相当となる危険警報の新設、洪水関係の情報変更、気象防災速報の新設など、現行の大雨警報・注意報などの気象庁が発表する防災気象情報が大きく変わる。

昨年度から引続き、「新しい防災気象情報」(体系整理)に関して、自治体、報道関係機関に説明を行い、情報の変更や新たな方針が示されたら、その都度、情報共有を行った。

【今年度の説明実施状況(会議・打合せ等)】

5月

- ・県危機管理部局、土木部局の担当者打合せ
- ・市町キャラバン(17市町)
- ・NHK高松放送局との業務打合せ

9月

- ・県内報道機関へYouTube限定公開動画と説明資料送付



市町キャラバン



NHKとの業務打合せ

説明資料(※資料は11月末現在、検討中の部分あり)

新しい防災気象情報 (R8出水期から運用開始予定)

- 防災気象情報(大雨、河川氾濫、土砂災害、高潮)を5段階の警戒レベルにあわせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、レベル4相当の情報として危険警報を新設。
- 情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。(例:レベル4大雨危険警報等)
- 情報と対応する防災行動との関係が明確に。(レベルの数字で、とるべき行動が分かる！)

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

警戒レベル	大雨	河川氾濫	土砂災害	高潮	住民がとるべき行動
5	レベル5 大雨特別警報	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 逃げて安全確保!
4	レベル4 大雨危険警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から避難
3	レベル3 大雨警報	レベル3 氾濫警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間がかかる場合は早めの避難、避難の準備を!
2	レベル2 大雨注意報	レベル2 氾濫注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動が困難(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
1	早期注意情報				災害への心構えがある

※情報名称の最終決定は、法制度などの関係も踏まえ、気象庁・国土交通省が行う

新しい防災気象情報 (R8出水期から運用開始予定)

- これまで、気象警報・注意報を補足する情報等として伝えてきた様々な気象情報を、「気象防災速報」と「気象解説情報」の大きく2つのカテゴリに分類して発表。
- 線状降水帯の発生や、記録的な長時間大雨など、顕著現象が発生または発生しつつある場合にその旨を、「気象防災速報」として速報的に伝える。

気象防災速報 … 極端な現象を速報的に伝える情報

現状: 記録的短時間大雨情報 → 気象防災速報(記録的短時間大雨)

今後(令和8年度出水期へ): 気象防災速報(線状降水帯発生) ※1

※1 前線気象防災速報のみならず、現行の顕著な大雨に関する気象情報で発表している地方・全国レベルの情報を発表する予定です。(気象庁発表予定)

※2 線状降水帯の発生や、記録的な長時間大雨など、顕著現象が発生または発生しつつある場合にその旨を、「気象防災速報(線状降水帯前予測)」として発表(発表予定)

※3 気象防災速報(短時間大雨)

※4 電波注意情報 → 気象防災速報(電波注意/電波警報)

気象解説情報 … 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報

現状: 線状降水帯半日前予測(発表された情報/地方/府県気象情報) → 気象解説情報(線状降水帯半日前予測) ※2

今後(令和8年度出水期へ): 気象解説情報(台風観測情報) ※3

※2 最新の気象状況に即座に反映する

※3 気象庁発表(台風観測情報) ※4 気象庁発表(気象庁発表)

※5 気象庁発表(気象庁発表)

※6 気象庁発表(気象庁発表)

※7 気象庁発表(気象庁発表)

※8 気象庁発表(気象庁発表)

洪水等に関する情報の主な変更点

- 洪水に関する情報は、洪水予報(河川のみを対象とした)と河川氾濫(河川氾濫)との情報とし、これを一般向けの警報扱いとする。これまでの気象庁による市町村ごとの洪水警報・注意報の発表は行わない。
- 水位周知(河川の水位)の情報は、当面はこれまで通りの運用とする。(水位の実況情報に洪水危険度を付けて発表することは当面は行わない。)
- 浸水警報を対象とした大雨特別警報・警報・注意報は、大雨に関する情報として警戒レベル毎に整理し、警戒レベル相当情報として位置づけ。洪水予報(河川)以外の河川についても大雨に関する情報の中で一纏めに扱う。(水位周知(河川)も大雨の情報の中で扱う)

分類	洪水予報(河川)	水位周知(河川)	本報以外の利用も含む洪水警報等	大雨に関する情報
発表主体	約400河川	河川事務所または都道府県土木部局	河川事務所	気象庁
発表地域	河川ごと	河川ごと	河川ごと	市町村ごと
対象とする主要現象	洪水(高潮・干潮)	水位(高潮・干潮)	洪水(高潮・干潮)	内水氾濫及び河川氾濫(河川氾濫)
情報名称	レベル5 氾濫特別警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル5 大雨特別警報	レベル4 大雨危険警報
	レベル3 大雨警報	レベル2 氾濫注意報	レベル3 大雨警報	レベル2 大雨注意報
	早期注意情報	早期注意情報	早期注意情報	早期注意情報

※情報名称の最終決定は、法制度などの関係も踏まえ、気象庁・国土交通省が行う

気象台では、地域における気象防災支援強化等に関する取組として、高松市教育委員会主催の高松市防災教育講師派遣事業へ参加している。

【防災教育の目的】

児童が、自然災害による危険や被害について知り、自他の命を救うための方法や防災について考えたりすることを通して、災害発生時における適切な判断力と行動力を育成する。

【R7年度 小学校への防災教育(出前講座等)実施状況】

高松市防災教育講師派遣事業

- ・ 9月 高松市立国分寺南部小学校(対象:6年生 117名)
- ・ 11月 高松市立古高松南小学校(対象:5年生 124名)

出前講座

- ・ 6月 三木町立田中小学校(対象:3、4年生 27名)



防災関連ビデオ視聴



「急な大雨、雷、竜巻から身を守ろう!」の説明



タブレットを用いた気象庁HPの説明

ちいさき ひろく
身近な地域の災害と避難について考えよう

- ① 過去にどんな災害があったの? (2004年など)
- ② 防災マップを見てみよう!
- ③ 大雨や地震の注意点
- ④ 気象台や市役所からの防災情報



講義内容(例)